

## 第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

### 4-1 本章の目的

本章では、前章で導き出された262の歴史的小都市の特性を大まかに捉え、より詳細な空間変容を捉えるための準備段階として歴史的小都市の類型化を行う。この際には、作業仮説としていくつかの中心指標を用いて歴史的小都市を分類し、それらについてその他の関連指標を用いてその類型の妥当性を検討すると共に、各類型毎の特性を捉えることとする。

### 4-2 作業仮説の提示

歴史的小都市の空間変容の実態を捉えるための前段階の作業仮説として、次にあげる3つの指標を中心指標として類型化を試みる。

- A・近代初頭の状態を示す指標
- B・近・現代を通しての変化を捉える指標
- C・現在の都市の状況を示す指標

これら3つの指標は、近世時代に一定の中心性を持った市街地を有していたと考えられる各歴史的市街地が、現在に至るまでの変容を踏まえるためのものであり、かつ各々の指標が現在の市街地の空間変容に対して影響を与えていると想定して捉えた上、選定を行った。以下で具体的に使用した指標を説明する。

A指標には、歴史的小都市の成立基盤を示す指標とし、近世時代においてどのような特性を有した都市であったか示す指標を用意する。

B指標は、近世初頭及び現状の地形図を用いて、各々の市街地の大きさ及び形を把握することによって、近代を通しての歴史的市街地の変容状況を捉える。

C指標は、周辺地域における歴史的小都市の現状における位置づけを、その中心性の強弱（独立／依存関係）によって示すものとする。

なお、これら中心指標の具体的な定義及び説明は、次節以降において行う。また、次節以降においては、これら3指標に基づいた歴史的市街地の特性の分析、考察を行う。

但し、ここで補足しておかなければいけないのは、これら市街地の状況を示す指標は上記の3指標だけではなく、様々に考えられるという点である。例として、人口指標（人口規模、人口動態、昼夜間人口比など）、経済活動指標（商業統計、財政力指数など）、土地利用指標（用途地域指定、DID区域など）等が考えられる。しかし、本論では歴史的市街

地が近世から近・現代という時代を経てどのように変遷を遂げたかということに最も着目していることから、ここであげたような諸指標は、3つの中心指標によって分類された歴史的な小都市を説明するための関連指標として用いることとする。

### 4-3 歴史的小都市の成立基盤について

#### 4-3-1 成立基盤の特定方法及び分類

ここでは、作業仮説で挙げた3つの中心指標のうち、A・近代初頭における市街地の状態を示す指標としての歴史的小都市の成立基盤について検討する。

歴史的小都市の成立基盤の特定方法は、以下の手順を踏んで行った。まず、いくつかの参考資料における各歴史的小都市の近世時代の特性を把握した。(表4-2<sup>文1)</sup> <sup>文2)</sup>)しかし、これらの参考資料には、城下町に関する記述はなされているが、その他の特性を持つ都市について、全国的に把握され、記述されているものは少ない。また、城下町の記述についても、近世末期における城郭の有無、陣屋、館の有無等の捉え方は資料によって異なっている。

そこで、本論では信頼できる地名辞典に記述されている都市別、時代別の性格付けに依拠し、各市街地を表4-2中欄<sup>注1)</sup>のように整理した。次に、いくつかの性格を重ね持つ都市については最も影響力が大きかったと記述されているものを分類の代表指標とした。また、陣屋町等と記述されている都市の中で城下町と同様の機能を有していたと判断する基準としては、侍町の有無(陣屋以外の)によることとした。(表4-2 基盤内訳欄)

そして、最終的には、近世城下町かそれ以外かに着目して分類を行い、表4-1及び表4-2(基盤最終)に示すような区分とした。

分類の結果、262都市のうち、城下町起源が99都市であるのに対して、非城下町が163都市と2倍近くあることがわかる。この非城下町の中には、中世城下町や近世の途中まで城下町(表4-1では、「元城下町」と表記)であった都市を含む。また、非城下町型の中で最も多くをしめるのは市場町起源<sup>注2)</sup>の都市である。

表4-1 歴史的小都市の成立基盤による分類

成立基盤	実数	構成比(%)
近世城下町	99	37.8
非城下町合計	163	62.2
元城下町	15	5.7
非城下町 市場町	76	29.0
宿場町	55	21.0
内訳 門前町	13	5.0
産業町等	4	1.5
総計	262	100.0

表4-2 歴史的小都市成立基盤詳細データ

コード	市町村	文献1	文献2	文献3) 角川日本地名大辞典	基盤内訳	基盤最終	95人口	85-95 人口増減率
1	青森県 黒石市		陣屋町	城下町	城	城下町	39004	-7.44%
3	青森県 三戸町			城下町	城	城下町	13740	-14.23%
5	岩手県 水沢市			城下町	城	城下町	60026	1.01%
6	岩手県 花巻市	近世城下町		城下町、宿場町	城	城下町	71950	-0.73%
9	岩手県 遠野市			小城下	城	城下町	28172	-11.06%
10	岩手県 一関市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	63477	0.40%
13	岩手県 江刺市			城下町	城	城下町	34117	-6.26%
20	宮城県 登米町			城下町	城	城下町	6507	-11.08%
22	秋田県 横手市	近世城下町		城下町、宿場町	城	城下町	41462	-7.95%
23	秋田県 大館市			城下町	城	城下町	67214	-10.41%
24	秋田県 本庄市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	45108	-1.87%
25	秋田県 湯沢市			城下町→宿城、小城下(館あり)	城	城下町	36223	-5.96%
27	秋田県 角館町			城下町→宿城、小城下(館あり)	城	城下町	15224	-12.93%
28	山形県 米沢市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	95592	-1.64%
29	山形県 鶴岡市			城下町	城	城下町	100538	-3.26%
30	山形県 新庄市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	42887	-3.94%
31	山形県 上山町	近世城下町	城下町	城下町、温泉町	城	城下町	38047	-5.64%
35	福島県 白河市		城下町	城下町	城	城下町	46544	0.41%
38	福島県 二本松市		城下町	城下町	城	城下町	35966	0.90%
44	福島県 猪苗代町			城下町	城	城下町	18874	-5.04%
48	福島県 棚倉町			城下町	城	城下町	16547	-3.38%
49	福島県 三春町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	20124	2.05%
51	茨城県 下館市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	66062	-0.42%
52	茨城県 結城市		城下町	城下町	城	城下町	53777	-0.82%
55	茨城県 常陸太田市			城下町	城	城下町	39545	3.78%
58	茨城県 笠間市	近世城下町	城下町	城下町、門前町	城	城下町	30337	-7.57%
64	茨城県 麻生町		城下町	城下町	城	城下町	17286	-8.42%
67	栃木県 佐野市		陣屋町	幕府領、宿場町	城	城下町	84069	0.34%
72	栃木県 大田原市	近世城下町	城下町	城下町、宿場町	城	城下町	53685	4.12%
74	栃木県 壬生町	近世城下町	城下町	城下町、宿場町	城	城下町	39823	2.05%
77	栃木県 烏山町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	20288	-9.92%
80	群馬県 沼田市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	47204	-3.55%
84	群馬県 安中市	近世城下町	城下町	城下町、宿場町	城	城下町	47079	1.66%
105	新潟県 三条市		陣屋町	城下町	城	城下町	85691	-4.34%
107	新潟県 新発田市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	80498	0.47%
108	新潟県 新津市			城下町	城	城下町	65569	-0.97%
112	新潟県 村上市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	31938	-7.94%
113	新潟県 燕市			城下町	城	城下町	43589	-6.04%
115	新潟県 糸魚川市		陣屋町	城下町、宿場町	城	城下町	32931	-12.30%
121	新潟県 村松町		城下町	城下町	城	城下町	21239	-9.63%
122	新潟県 亀田町		城下町	城下町	城	城下町	31257	4.49%
125	新潟県 与板町		陣屋町	城下町	城	城下町	7484	-4.63%
129	富山県 魚津市			城下町(町奉行)、館あり	城	城下町	48316	-6.72%
147	石川県 加賀市		城下町	城下町、宿場町	城	城下町	69394	-2.50%
153	福井県 敦賀市		陣屋町	城下町	城	城下町	67204	-1.32%
154	福井県 武生市			陣屋町(館町有り)	城	城下町	71109	-0.84%
155	福井県 小浜市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	33496	-5.14%
156	福井県 大野市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	40245	-7.78%
157	福井県 勝山市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	29162	-7.90%
158	福井県 鯖江市	近世城下町	陣屋町	城下町、門前町	城	城下町	62890	-1.31%
161	福井県 丸岡町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	29660	5.11%
162	長野県 飯田市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	89831	-6.46%
164	長野県 小諸市		城下町	城下町	城	城下町	45711	0.79%
167	長野県 飯山市		城下町	城下町	城	城下町	27423	-9.47%
170	長野県 高遠町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	7665	-15.04%
172	岐阜県 高山市		天領	天領	城	城下町	66139	-1.93%
175	岐阜県 八幡町			城下町	城	城下町	17262	-9.21%
184	三重県 上野市			城下町	城	城下町	60986	-3.31%
186	三重県 亀山市	近世城下町	城下町	城下町、宿場町	城	城下町	38631	4.48%
187	三重県 鳥羽市		城下町	城下町、港町	城	城下町	26806	-9.41%
189	三重県 久居市		陣屋町	城下町	城	城下町	40144	-1.08%
191	三重県 毛織町			城下町	城	城下町	13313	5.20%
194	京都府 福知山市	近世城下町	城下町	城下町、宿場町	城	城下町	66761	-2.45%
195	京都府 舞鶴市	近世城下町	城下町	城下町、港町	城	城下町	94784	-7.81%
196	京都府 綾部市		城下町	城下町	城	城下町	39981	-8.41%
197	京都府 宮津市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	24937	-15.46%
198	京都府 峰山町		陣屋町	城下町、市場町	城	城下町	14026	-8.93%
199	兵庫県 洲本市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	42373	-8.77%
200	兵庫県 豊岡市		陣屋町	城下町	城	城下町	47742	-3.54%

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村	文献1	文献2	文献3) 角川日本地名大辞典	基盤内訳	基盤最終	95人口	85-95 人口増減率
201	兵庫県 龍野市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	40607	-4.95%
202	兵庫県 赤穂市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	51426	-5.44%
203	兵庫県 山崎町		陣屋町	陣屋町 (館町あり)	城	城下町	26663	-4.88%
204	兵庫県 出石町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	10917	-6.23%
207	和歌山県 田辺市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	70246	-4.44%
208	和歌山県 新宮市	近世城下町	城下町	城下町、門前町	城	城下町	34134	-15.60%
209	鳥取県 倉吉市		陣屋町	陣屋町 (館町あり)	城	城下町	51107	-6.03%
212	鳥根県 浜田市	近世城下町		城下町	城	城下町	48515	-8.87%
217	鳥根県 広瀬町		陣屋町	城下町	城	城下町	9613	-13.76%
219	鳥根県 津和野町	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	6541	-19.45%
221	岡山県 津山市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	91170	1.15%
223	広島県 三原市	近世城下町		城下町	城	城下町	83769	-6.23%
226	山口県 萩市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	48314	-12.76%
231	香川県 多度津町		陣屋町	陣屋町 (館町あり) 港町	城	城下町	23749	-4.11%
232	愛媛県 宇和島市		城下町	城下町	城	城下町	65470	-12.63%
234	愛媛県 西条市		城下町	陣屋町 (館町あり)	城	城下町	57110	-2.56%
235	愛媛県 大洲市		城下町	城下町	城	城下町	38937	-6.11%
240	愛媛県 吉田町		城下町	陣屋町 (館町あり) + 港	城	城下町	13633	-17.93%
246	佐賀県 小城町		陣屋町	城下町	城	城下町	17133	11.21%
248	長崎県 高崎市		城下町	城下町	城	城下町	40778	-16.56%
250	長崎県 大村市		城下町	城下町、宿場町	城	城下町	79279	8.77%
251	長崎県 平戸市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	25240	-16.18%
252	熊本県 人吉市		城下町	城下町	城	城下町	39373	-11.01%
253	大分県 日田市		城下町	幕府領 (城下町)	城	城下町	63849	-6.53%
254	大分県 佐伯市		城下町	城下町	城	城下町	51376	-10.09%
255	大分県 臼杵市		城下町	城下町	城	城下町	36614	-12.08%
256	大分県 竹田市		城下町	城下町	城	城下町	18746	-20.71%
258	大分県 杵築市		城下町	城下町	城	城下町	22112	-3.72%
259	大分県 日出町		城下町	城下町	城	城下町	24433	4.05%
261	宮崎県 日南市	近世城下町	城下町	城下町	城	城下町	47595	-12.78%
2	青森県 鯉ヶ沢町			港町	市場	非城下町	14077	-19.97%
4	岩手県 宮古市			港町	市場	非城下町	56389	-12.94%
7	岩手県 北上市			宿場町	宿	非城下町	62946	6.26%
8	岩手県 久慈市			宿場町	宿	非城下町	37524	-7.90%
11	岩手県 陸前高田市			宿場町	宿	非城下町	26129	-12.31%
12	岩手県 釜石市			宿場町、港町、市場町	宿	非城下町	49447	-24.96%
14	岩手県 二戸市			城下町→廃城、代官所	元城	非城下町	28018	-12.50%
15	岩手県 前沢町			市場町 (足軽館町あり)	市場	非城下町	15534	-8.13%
16	岩手県 大槌町			城下町→滅亡、市場町へ(代官所あり)	元城	非城下町	18301	-14.29%
17	岩手県 山田町			市場町	市場	非城下町	22019	-15.33%
18	岩手県 一戸町			宿場町 (本陣有り)	宿	非城下町	17906	-17.57%
19	宮城県 気仙沼市			港町	市場	非城下町	63001	-11.75%
21	秋田県 能代市			港町	市場	非城下町	55009	-11.16%
26	秋田県 矢島町			陣屋を中心とする侍町のみ	元城	非城下町	6741	-12.32%
32	山形県 長井市			川港町、市場町	市場	非城下町	32727	-5.93%
33	山形県 天童市		陣屋町	宿場町、陣屋町、在郷町	宿	非城下町	60626	5.48%
34	山形県 南陽市			門前町、市場町	門	非城下町	36810	-4.51%
36	福島県 須賀川市			宿場町	宿	非城下町	64298	4.97%
37	福島県 喜多方市			市場町 (在郷町)	市場	非城下町	37532	-3.64%
39	福島県 桑折町			直角地 (代官所)、宿場町	元城	非城下町	14221	-8.50%
40	福島県 梁川町			市場町	市場	非城下町	21745	-9.56%
41	福島県 保原町			市場町、陣屋有り	市場	非城下町	25116	-0.54%
42	福島県 川俣町			宿場町、市場町、陣屋有り	宿	非城下町	19043	-13.16%
43	福島県 本宮町			宿場町	宿	非城下町	21810	5.26%
45	福島県 会津坂下町			宿場町	宿	非城下町	20083	-5.33%
46	福島県 会津高田町			駅所、市場町	市場	非城下町	16332	-6.45%
47	福島県 本郷町			宿場町、職人町 (本郷焼)	宿	非城下町	6376	-2.13%
50	福島県 浪江町			宿場町	宿	非城下町	23245	-5.11%
53	茨城県 那珂湊			港町	市場	非城下町	31930	-6.99%
54	茨城県 下妻市		陣屋町	市場町、陣屋有り	市場	非城下町	36115	6.02%
56	茨城県 高萩市			宿場町	宿	非城下町	35604	0.99%
57	茨城県 北茨城市			港町	市場	非城下町	52074	-1.60%
59	茨城県 小川町			市場町	市場	非城下町	19484	2.35%
60	茨城県 大洗町			港町	市場	非城下町	20446	-6.54%
61	茨城県 大宮町			宿場町 (南郷街道)、物資集散地	宿	非城下町	26443	1.13%
62	茨城県 鉾田町			川港町、物資の集散地	市場	非城下町	28605	-1.71%
63	茨城県 鹿嶋町			門前町	門	非城下町	45619	3.01%
65	茨城県 潮来町			港町、遊郭	市場	非城下町	25901	5.27%
66	茨城県 真壁町			中世城下町→廃城、在郷町へ	元城	非城下町	20721	-4.98%
68	栃木県 鹿沼市			宿場町	宿	非城下町	93053	1.75%

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村	文献1	文献2	文献3) 角川日本地名大辞典	基盤内訳	基盤最終	95人口	85-95 人口増減率
69	栃木県 日光市			門前町	門	非城下町	18874	-18.60%
70	栃木県 今市市			宿場町	宿	非城下町	60811	9.06%
71	栃木県 真岡市			市場町、陣屋有り	市場	非城下町	63340	6.00%
73	栃木県 茂木町		陣屋町	市場町、陣屋有り	市場	非城下町	18532	-9.67%
75	栃木県 氏家町			宿場町	宿	非城下町	26948	5.99%
76	栃木県 喜連川町		陣屋町	宿場町、陣屋有り	宿	非城下町	11341	-5.03%
78	栃木県 田沼町			門前町	門	非城下町	30456	-2.68%
79	栃木県 葛生町			在郷町	市場	非城下町	13574	-16.74%
81	群馬県 洪江市			市場町	市場	非城下町	49167	-0.85%
82	群馬県 藤岡市			市場町、宿場町	市場	非城下町	62676	5.33%
83	群馬県 富岡市	近世城下町	陣屋町	市場町、陣屋有り	市場	非城下町	49271	-2.14%
85	群馬県 伊香保町			温泉町	その他	非城下町	4555	-9.88%
86	群馬県 新町			宿場町	宿	非城下町	13138	-6.99%
87	群馬県 鬼石町			市場町	市場	非城下町	7852	-18.76%
88	群馬県 吉井町			宿場町 (陣屋あり)	宿	非城下町	23978	4.19%
89	群馬県 下仁田町			宿場町	宿	非城下町	12266	-19.67%
90	群馬県 甘楽町		陣屋町	陣屋町	元城	非城下町	14481	-0.66%
91	群馬県 松井田町			宿場町	宿	非城下町	17774	9.40%
92	群馬県 中之条町			宿場町、市場町	宿	非城下町	18947	-10.33%
93	群馬県 吾妻町			市場町	市場	非城下町	15874	-10.13%
94	群馬県 境町			宿場町	宿	非城下町	30742	-0.05%
95	群馬県 玉村町			宿場町	宿	非城下町	34244	36.55%
96	群馬県 尾高町			市場町	市場	非城下町	14440	-4.61%
97	群馬県 大間々町			宿場町	宿	非城下町	23234	-4.73%
98	埼玉県 秩父市			宿場町	宿	非城下町	60799	-3.95%
99	埼玉県 鬼玉町			宿場町	宿	非城下町	20856	5.52%
100	千葉県 銚子市			港町	市場	非城下町	82180	-10.54%
101	千葉県 館山市			港町	市場	非城下町	52880	-9.57%
102	千葉県 鶴川市			港町	市場	非城下町	31111	-5.82%
103	千葉県 小見川町		陣屋町	市場、陣屋有り	宿	非城下町	26488	-3.29%
104	千葉県 天津小湊町			港町	市場	非城下町	8172	-15.73%
106	新潟県 柏崎市			宿場町	宿	非城下町	91229	1.91%
109	新潟県 小千谷市			市場町	市場	非城下町	42494	-7.62%
110	新潟県 加茂市			門前町	門	非城下町	33800	-9.99%
111	新潟県 見附市			宿場町	宿	非城下町	43760	-0.83%
114	新潟県 柏尾市			元城下町→代官屋敷、在郷町、門前町	元城	非城下町	26390	-16.11%
116	新潟県 五泉市			市場町	市場	非城下町	39115	-6.53%
117	新潟県 函津市			港町	市場	非城下町	18430	-14.35%
118	新潟県 白根市			市場町	市場	非城下町	38653	7.83%
119	新潟県 水原町			市場町 直轄地	市場	非城下町	20433	-1.70%
120	新潟県 小須戸町			港町	市場	非城下町	10381	-3.51%
123	新潟県 分水町			門前町	門	非城下町	15799	-3.15%
124	新潟県 津川町			港町、市場町、代官所あり	市場	非城下町	5605	-14.64%
126	新潟県 能生町			宿場町、港町	宿	非城下町	11334	-18.85%
127	新潟県 相川町			釜直町	その他	非城下町	10330	-18.71%
128	富山県 新湊市			港町	市場	非城下町	38491	-11.96%
130	富山県 氷見市			市場町	市場	非城下町	58786	-9.26%
131	富山県 番川市			宿場町	宿	非城下町	31841	-0.58%
132	富山県 黒部市			宿場町 (本陣あり)	宿	非城下町	36414	-2.83%
133	富山県 砺波市			市場町	市場	非城下町	38531	1.63%
134	富山県 小矢部市			宿場町	宿	非城下町	35785	-6.19%
135	富山県 立山町			市場町	市場	非城下町	27444	-5.53%
136	富山県 朝日町			宿場町 (本陣あり)	宿	非城下町	17007	-14.25%
137	富山県 八尾町			市場町	市場	非城下町	22313	-5.89%
138	富山県 大門町			市場町 (川港)	市場	非城下町	12284	-4.49%
139	富山県 城端町			門前町	門	非城下町	10603	-11.98%
140	富山県 井波町			門前町	門	非城下町	10929	-9.19%
141	富山県 福野町			市場町	市場	非城下町	15044	-5.52%
142	富山県 福光町			蔵宿	宿	非城下町	21233	-9.37%
143	富山県 福岡町			市場町	市場	非城下町	13220	4.04%
144	石川県 七尾市			港町	市場	非城下町	49710	-5.35%
145	石川県 輪島市			港町	市場	非城下町	28229	-16.40%
146	石川県 珠洲市			宿 (加賀藩)	宿	非城下町	21580	-23.43%
148	石川県 羽咋市			門前町、港町	門	非城下町	26592	-11.86%
149	石川県 松任市			宿場町、市場町	宿	非城下町	62990	12.92%
150	石川県 美川町			港町	市場	非城下町	11803	-7.99%
151	石川県 鶴来町			門前町	門	非城下町	20860	4.02%
152	石川県 津幡町			宿場町	宿	非城下町	30318	15.29%
159	福井県 三国町			港町	市場	非城下町	23677	-1.07%
160	福井県 金津町			市場町、宿場町	市場	非城下町	17862	-1.94%

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村	文献1	文献2	文献3) 角川日本地名大辞典	基盤内訳	基盤最終	95人口	85-95 人口増減率
163	長野県 須坂市		陣屋町	陣屋町、市場町	元城	非城下町	53842	-3.17%
165	長野県 中野市			市場町(陣屋有り)	市場	非城下町	42292	0.56%
166	長野県 大町市			宿場町(糸魚川街道)	宿	非城下町	31020	-8.21%
168	長野県 更埴市			宿場町	宿	非城下町	38294	0.17%
169	長野県 佐久市			宿場町	宿	非城下町	64206	2.99%
171	長野県 上松町			宿場町	宿	非城下町	6641	-14.58%
173	岐阜県 中津川市			宿場町	宿	非城下町	54819	-0.79%
174	岐阜県 美濃市			城下町(廃藩)→市場町	元城	非城下町	25969	-7.32%
176	岐阜県 古川町			城下町→市場町	元城	非城下町	16035	-5.68%
177	静岡県 島田市			宿場町	宿	非城下町	75029	-0.08%
178	静岡県 下田市			港町	市場	非城下町	29103	-7.40%
179	静岡県 蒲原町			宿場町	宿	非城下町	14040	-12.03%
180	静岡県 山比町			宿場町	宿	非城下町	10368	-13.04%
181	静岡県 岡部町			宿場町	宿	非城下町	13566	2.55%
182	静岡県 金谷町			宿場町	宿	非城下町	21482	-6.39%
183	愛知県 新城市			城下町→廃藩(陣屋町へ)、宿場町	元城	非城下町	36147	-1.46%
185	三重県 尾鷲市			港町(貿易)	市場	非城下町	25258	-21.35%
188	三重県 熊野市			港町	市場	非城下町	22257	-16.48%
190	三重県 関町			宿場町	宿	非城下町	7497	-0.97%
192	滋賀県 長浜市			城下町(廃城)→門前町、港町	元城	非城下町	57082	-0.88%
193	滋賀県 日野町			城下町(廃城)→商人町	元城	非城下町	23132	1.25%
205	兵庫県 船原町			門前町	門	非城下町	9793	5.10%
206	兵庫県 津名町			港町、市場町	市場	非城下町	17084	-3.02%
210	鳥取県 境港市			港町	市場	非城下町	37365	-3.56%
211	鳥取県 淀江町			宿場町	宿	非城下町	9094	-0.62%
213	鳥根県 出雲市			市場町	市場	非城下町	84854	1.24%
214	鳥根県 益田市			市場町(港)	市場	非城下町	51559	-8.43%
215	鳥根県 安来市			港町	市場	非城下町	31637	-8.09%
216	鳥根県 平田市			港町	市場	非城下町	29707	-9.01%
218	鳥根県 大社町			門前町	門	非城下町	16683	-11.31%
220	鳥根県 西郷町			港町(貿易中継)	市場	非城下町	13484	-12.05%
222	広島県 竹原市			港、製塩町	市場	非城下町	33451	-12.08%
224	広島県 三次市			元城下町	元城	非城下町	39844	-1.40%
225	広島県 瀬戸田町			港町	市場	非城下町	10011	-22.79%
227	山口県 柳井市			港町(貿易港)	市場	非城下町	35071	-10.28%
228	徳島県 鳴門市			市場、港町(番所あり)	市場	非城下町	64923	-2.69%
229	香川県 坂出市			塩田→港町(貿易港)	市場	非城下町	61350	-11.32%
230	香川県 観音寺市			門前町	門	非城下町	45103	-4.63%
233	愛媛県 八幡浜市			港町	市場	非城下町	35891	-19.51%
236	愛媛県 伊予市			港町	市場	非城下町	30270	-2.13%
237	愛媛県 長浜町			港町	市場	非城下町	10180	-18.87%
238	愛媛県 内子町			宿場町	宿	非城下町	11802	-11.72%
239	愛媛県 宇和町			宿場町	宿	非城下町	17484	-7.99%
241	高知県 南国市			市場町	市場	非城下町	48192	-2.28%
242	高知県 須崎市			港町、市場町	市場	非城下町	28742	-12.77%
243	福岡県 黒木町			市場町(制乳場あり)	市場	非城下町	15691	-13.64%
244	佐賀県 伊万里市			窯業町	その他	非城下町	60348	-6.41%
245	佐賀県 武雄市			宿場町、門前町	宿	非城下町	35062	-2.86%
247	佐賀県 有田町			窯業町	その他	非城下町	13354	-11.98%
249	長崎県 諫早市			陣屋町、港、宿	元城	非城下町	93058	1.43%
257	大分県 豊後高田市			市場町(陣屋有り)	市場	非城下町	19131	-10.89%
260	大分県 佐賀関町			港町(代官所あり)	市場	非城下町	14266	-25.39%
262	宮崎県 日向市			港町(陣屋あり)	市場	非城下町	58802	-4.21%

\*文献1) 藤本利治他: 城と城下町、付録地図、1978

ここでは、文1)において近世末期に城郭を有した都市を近世城下町とした

\*文献2) 藤岡健二郎: 日本の都市その特質と問題点、第二章 明治・大正年代の日本の都市 p138~193、大明堂、1968

ここでは、明治2年(1869)現在における全国の陣屋町・城下町が示されていることから参考資料とした

\*文献3) 角川日本地名大辞典:

各自治体の市町村史を基礎資料として、都道府県別に各地域の地名及びその由来又、その地域の成り立ちについて

全国規模で編纂された資料であることから、基礎資料とした。

## 4-3-2 成立基盤の特性

ここでは、区分した成立基盤の差異によってその都市の特性が見られるか検討を行う。この特性を捉える関連指標には95年人口規模と85-95人口増減率を使用した。これらのデータは表4-2右欄に、また区分別の集計結果は表4-3、4-4に示した。

それぞれの指標の差の検定の結果から95人口規模は有意、85-95人口増減率は有意差なしと判定された。つまり、城下町、非城下町間における人口規模には差がみられ、その平均値から城下町の方が非城下町よりも人口規模が大きいことがいえる。これに対し、人口増減は両者共あまり差はなく、一様に減少している傾向が見られることが明かとなった。

表4-3 成立基盤別95人口規模データ

成立基盤	城下町	非城下町
サンプル数	99	163
平均	43344.788	31108.374
標準偏差	22999.352	19439.092

\*差の検定結果 1%有意

表4-4 成立基盤別85-95人口増減比データ

成立基盤	城下町	非城下町
サンプル数	99	163
平均	-0.054	-0.059
標準偏差	0.062	0.084

\*差の検定結果 有意差なし



#### 4-4 歴史的小都市の近代における市街地変容について

##### 4-4-1 市街地変容の特定方法及び分類

ここでは、作業仮説のうち、B・近・現代を通しての歴史的市街地の変容を捉える指標にあたる市街地変容についての検討を行う。

市街地変容についての判断は、旧版地図における「商売連坦地区」の範囲（図4-1左欄）と、国土地理院発行の現況の1/50000の地図における「総描建物」<sup>73)</sup>表示の範囲（図4-1右欄）とを重ね合わせ、市街地面積が2倍以上に拡大しているものを「拡大」、2倍未満のもの（少数だが縮小しているものを含む）を「非拡大」とした。地図の例を図4-1、に示す。

この際、基準に2倍を採用することに明確な根拠があるわけではないが、以下の点からこの基準を用いることとした。

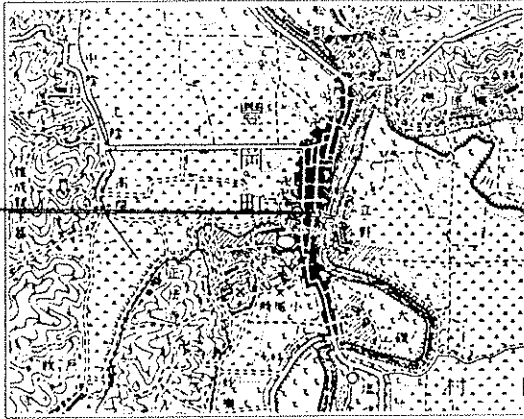
まず第一に、一般に都市市街地は近代に入って拡大しており、特に鉄道敷設が、歴史的市街地外部で行われたため、2倍程度までの拡張は拡大とみなさない方がよいと考えたこと。第二に現況の1/50000の地図における「総描建物」の記述は、建物が密集しているというだけで必ずしも商売を行っている地域ではないことから、「商売連坦地区」よりも多様な用途の市街地を含んでいると考えられることからである。

なお、拡大の中で、鉄道駅の設置に伴って駅周辺方向にのみ拡大したものを「一方向拡大」、人口集中や新規産業の立地等に伴って全面的に拡大したものを「全面的拡大」として区別し、結果を表4-5に示した。

表4-5から拡大と非拡大がほぼ同数で、歴史的小都市の半数は明治期以降、市街地があまり拡大していない。また、拡大した小都市でも、その2/3が鉄道による一方向拡大であり、全面的拡大を経験した自治体は16%にすぎないことがわかる。

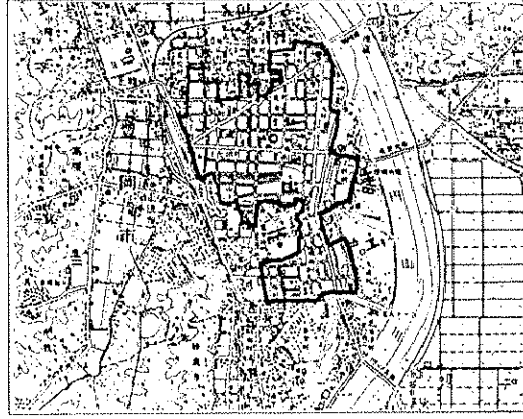
●全面的拡大 事例 兵庫県豊岡市

旧版地図(明治31年測量)



このように示されている範囲が商業連坦地区である

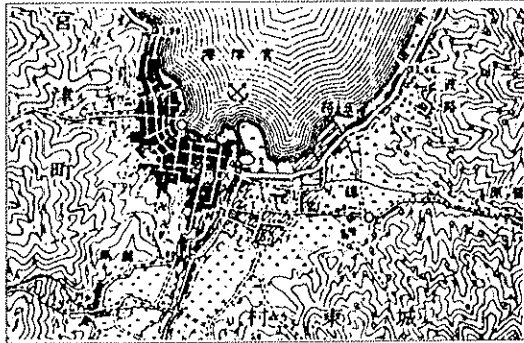
最新地図(平成7年修正測量)



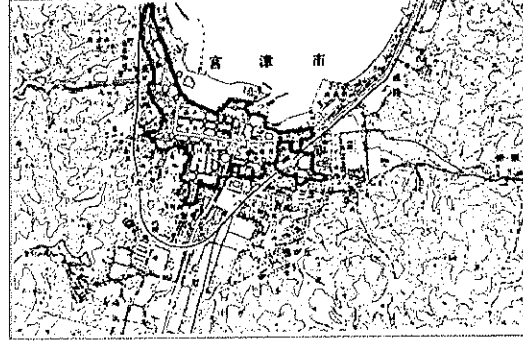
ハッチがかけられている箇所が建物の密集地(点描建物)として示されている範囲

●一方向拡大 事例 京都府宮津市

旧版地図(明治26年測量)

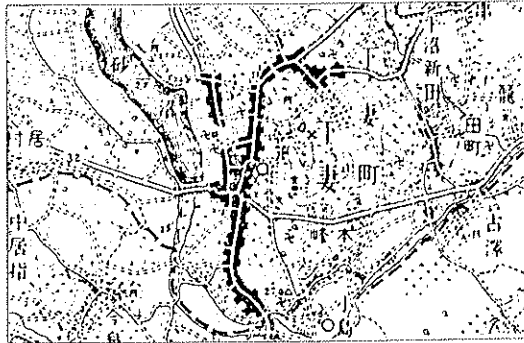


最新地図(平成7年修正測量)

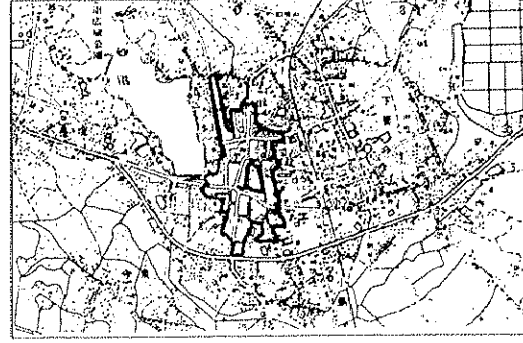


●非拡大 事例 茨城県下妻市

旧版地図(明治40年測量)



最新地図(平成6年修正測量)



1:50,000

図4-1 市街地変容事例

表4-5 歴史的小都市における市街地変容による分類

市街地変容	個数・構成比	対象自治体名								
拡大	全面的拡大 43 16%	岩手県宮古市	岩手県北上市	岩手県一関市	岩手県釜石市	秋田県能代市	山形県米沢市	山形県鶴岡市	山形県新庄市	
		山形県上山市	茨城県下館市	茨城県高萩市	群馬県渋川市	埼玉県秩父市	千葉県館山市	新潟県柏崎市	新潟県見附市	
拡大	一方向拡大 81 31%	新潟県五泉市	石川県羽咋市	石川県津幡町	福井県敦賀市	福井県大野市	福井県金津町	岐阜県高山市	岐阜県中津川市	
		三重県上野市	三重県尾鷲市	三重県久居市	滋賀県長浜市	京都府舞鶴市	兵庫県豊岡市	兵庫県赤穂市	島根県出雲市	
非拡大	138 53%	島根県益田市	広島県三原市	香川県坂出市	愛媛県宇和島市	愛媛県八幡浜市	愛媛県宇和町	長崎県島原市	長崎県諫早市	
		熊本県人吉市	大分県日田市	大分県佐伯市						
非拡大	138 53%	青森県黒石市	岩手県水沢市	岩手県花巻市	岩手県久慈市	岩手県山田町	宮城県気仙沼市	秋田県横手市	秋田県大館市	
		秋田県本庄市	福島県須賀川市	福島県喜多方市	茨城県那珂湊	茨城県麻生町	栃木県佐野市	栃木県鹿沼市	栃木県真岡市	
非拡大	138 53%	栃木県葛生町	群馬県新町	群馬県境町	千葉県銚子市	新潟県三条市	新潟県新発田市	新潟県新津市	新潟県加茂市	
		新潟県燕市	新潟県亀田町	富山県新津市	富山県魚津市	富山県滑川市	富山県黒部市	富山県小矢部市	富山県福光町	
非拡大	138 53%	石川県七尾市	石川県輪島市	石川県加賀市	石川県美川町	石川県鶴来町	福井県小浜市	福井県勝山市	福井県鯖江市	
		福井県九岡町	長野県飯田市	長野県須坂市	長野県大町市	長野県飯山市	長野県上松町	岐阜県美濃市	岐阜県古川町	
非拡大	138 53%	静岡県蒲原町	静岡県由比町	静岡県金谷町	愛知県新城市	三重県亀山市	京都府福知山市	京都府綾部市	京都府宮津市	
		京都府峰山町	兵庫県洲本市	兵庫県柏原町	和歌山県田辺市	和歌山県新宮市	鳥取県倉吉市	鳥取県境港市	島根県安来市	
非拡大	138 53%	岡山県津山市	広島県竹原市	広島県三次市	山口県柳井市	徳島県鳴門市	香川県観音寺市	香川県多度津町	愛媛県西条市	
		愛媛県吉田町	高知県南国市	佐賀県伊万里市	佐賀県武雄市	佐賀県有田町	長崎県大村市	大分県白杵市	大分県佐賀関町	
非拡大	138 53%	宮崎県日南市								
		青森県糠ヶ沢町	青森県三戸町	岩手県遠野市	岩手県陸前高田市	岩手県江刺市	岩手県二戸市	岩手県前沢町	岩手県大館町	
非拡大	138 53%	岩手県一戸町	宮城県登米町	秋田県湯沢市	秋田県矢島町	秋田県角館町	山形県長井市	山形県天童市	山形県南陽市	
		福島県白河市	福島県二本松市	福島県桑折町	福島県梁川町	福島県保原町	福島県川俣町	福島県本宮町	福島県猪苗代町	
非拡大	138 53%	福島県会津坂下町	福島県会津高田町	福島県本郷町	福島県棚倉町	福島県三春町	福島県浪江町	茨城県結城市	茨城県下妻市	
		茨城県常陸太田市	茨城県北茨城市	茨城県笠間市	茨城県小川町	茨城県大洗町	茨城県大宮町	茨城県鉾田町	茨城県鹿嶋町	
非拡大	138 53%	茨城県潮来町	茨城県真壁町	栃木県日光市	栃木県今市市	栃木県大田原市	栃木県茂木町	栃木県壬生町	栃木県氏家町	
		栃木県喜連川町	栃木県烏山町	栃木県田沼町	群馬県沼田市	群馬県藤岡市	群馬県富岡市	群馬県安中市	群馬県伊香保町	
非拡大	138 53%	群馬県鬼石町	群馬県吉井町	群馬県下仁田町	群馬県甘楽町	群馬県松井田町	群馬県中之条町	群馬県吾妻町	群馬県玉村町	
		群馬県尾島町	群馬県大間々町	埼玉県児玉町	千葉県鴨川市	千葉県小見川町	千葉県天津小湊町	新潟県小千谷市	新潟県村上市	
非拡大	138 53%	新潟県栃尾市	新潟県糸魚川市	新潟県高津市	新潟県白根市	新潟県水原町	新潟県小須戸町	新潟県村松町	新潟県分水町	
		新潟県津川町	新潟県与板町	新潟県能生町	新潟県相川町	富山県水見市	富山県福野町	富山県立山町	富山県朝日町	
非拡大	138 53%	富山県八尾町	富山県大門町	富山県城端町	富山県井波町	富山県福野町	富山県福岡町	石川県珠洲市	石川県松任市	
		福井県武生市	福井県三国町	長野県小諸市	長野県中野市	長野県更地市	長野県佐久市	長野県高遠町	岐阜県八幡町	
非拡大	138 53%	静岡県島田市	静岡県下田市	静岡県岡部町	三重県鳥羽市	三重県熊野市	三重県関町	三重県玉城町	滋賀県日野町	
		兵庫県龍野市	兵庫県山崎町	兵庫県出石町	兵庫県津名町	鳥取県淀江町	島根県浜田市	島根県平田市	島根県広瀬町	
非拡大	138 53%	島根県大社町	島根県津和野町	島根県西郷町	広島県瀬戸田町	山口県萩市	愛媛県大洲市	愛媛県伊予市	愛媛県長浜町	
		愛媛県内子町	高知県須崎市	福岡県黒木町	佐賀県小城町	長崎県平戸市	大分県竹田市	大分県豊後高田市	大分県杵築市	
非拡大	138 53%	大分県日出町	宮崎県日向市							

## 4-4-2 市街地変容の特性

ここでも、4-3-2と同様に市街地変容の差異によってその都市の特性が見られるか検討する。使用する関連指標は前節と同様の95人口規模と85-95人口増減率である。集計結果を表4-6、4-7に示す。

それぞれの指標の差の検定結果から、人口規模は1%有意、人口増減率は5%有意となり、人口規模の方がより顕著な差が見られることが明かとなった。拡大・非拡大間の人口規模の平均値の差は2倍以上で、拡大した都市ほど人口規模が大きいことがわかる。また、人口増減についても拡大都市の方が減少率が低い。つまり、非拡大都市は人口規模も小さく、またこの10年における人口減少もより顕著であるということがいえる。

表4-6 市街地変容別95人口規模データ

	拡大	非拡大
サンプル数	124	138
平均	58249.208	26019.913
標準偏差	18456.837	15406.002

\* 差の検定結果 1%有意

表4-7 市街地変容別85-95人口増減比データ

	拡大	非拡大
サンプル数	124	138
平均	-0.033	-0.057
標準偏差	0.066	0.084

\* 差の検定結果 5%有意

## 4-5 歴史的小都市の現状の立地特性について

### 4-5-1 現状の立地特性の特定方法と分類

ここでは、作業仮説のうち、C・現在の都市の状況を示す指標にあたる各都市の周辺地域における中心性の強弱（独立／依存関係）についての検討を行う。

ここでは、歴史的小都市の現状の立地特性を示す指標としては、各々の都市がどの程度他都市に依存せずに成立しているかに着目し、その独立性を把握することとした。具体的な指標としては、通勤・通学時における対母都市流出率の指標を使用する。この、対母都市流出率（以下、RS）の算出方法は、国調報告90年における

対母都市流出就業人口／居住地就業人口

によって求めた。なお、ここで使用した（RS）の算出方法及び圏域の捉え方は文4）に示された手法を使用した。集計結果を表4-8、詳細データを表4-9に示す。

（RS）の割合が5%未満の場合は、独立自治体（以下、独立型）とし、5%以上については表4-8 依存内訳欄のように3分類した上で母都市依存自治体（以下、依存型）として分類を行った。この（RS）の割合が5%未満の場合は、独立自治体とみなす理由は、文4）において、「5%未満の場合には圏域に含まれる程、他都市に依存している都市でない」と示されていることによった。そして、（RS 5%以下の自治体の割合は約27.9%であることから、歴史的小都市全体の70%以上が、いずれかの母都市に依存しながら成立していることがわかる。また、全体の（RS）が、10～20のものが最も多く、（RS）20%以上のような超依存自治体はむしろ少ないことも明かとなった。これが、都市圏内小都市と地方小都市の大きな違いである。

表4-8 歴史的小都市における独立・依存による分類

独立性		都市数	構成比
独立	RS 5%未満	73	27.86%
依存計	RS 5%～	189	72.14%
内	RS 5%～10%	68	25.95%
訳	RS 10%～20%	85	32.44%
	RS 20%～	36	13.74%
総計		262	100.00%

表4-9 歴史的小都市における独立・依存詳細データ

コード	市町村名	圏域類型	(B)/(A)	流出先市町村(B)	最流出人数(B)	(C)/(A)	流出先市町村(C)	次点流出人数(C)	就業者人数合計(A)	居住地内就業者数
2	青森県 鯉ヶ沢町	独立	4.93%	五所川原	380	0.00%			7708	6779
4	岩手県 宮古市	独立	2.02%	田老	625	1.10%	山田	341	30940	28514
5	岩手県 水沢市	独立	4.07%	金ヶ崎	1411	3.48%	江刺	1209	34709	28022
7	岩手県 北上市	独立	4.06%	花巻	1415	2.78%	江狐子	970	34890	28741
8	岩手県 久慈市	独立	1.92%	八戸	394	0.00%			20544	18650
9	岩手県 遠野市	独立	2.23%	釜石	382	0.00%			17167	15921
10	岩手県 一関市	独立	1.95%	平泉	712	1.42%	花泉	517	36528	32817
12	岩手県 釜石市	独立	1.71%	大迫	455	0.00%			26659	25633
14	岩手県 二戸市	独立	4.39%	一戸	735	0.00%			16726	14600
16	岩手県 大槌町	独立	4.05%	釜石	392	0.00%			9674	6574
21	秋田県 能代市	独立	1.38%	秋田	413	0.00%			29982	28009
22	秋田県 横手市	独立	1.85%	湯沢	429	2.11%	大曲	488	23167	20345
23	秋田県 大館市	独立	2.32%	比内	860	1.36%	田代	503	37106	34144
24	秋田県 本庄市	独立	4.96%	秋田	1255	3.24%	仁賀保	821	25325	20820
25	秋田県 湯沢市	独立	3.03%	横手	616	2.55%	羽後	518	20316	17684
28	山形県 米沢市	独立	1.32%	高島	737	0.91%	山形	506	55782	53064
29	山形県 鶴岡市	独立	2.81%	酒田	1611	0.00%			57240	51323
30	山形県 新庄市	独立	1.45%	真室川	347	0.00%			23983	21737
32	山形県 長井市	独立	3.50%	米沢	695	2.78%	南陽	551	19830	16755
51	茨城県 下館市	独立	3.82%	小山	1478	0.00%			38652	26798
54	茨城県 下妻市	独立	4.80%	つくば	951	4.25%	下館	843	19832	13326
80	群馬県 沼田市	独立	3.34%	前橋	930	0.00%			27827	20869
100	千葉県 銚子市	独立	3.99%	波崎	1889	2.78%	神栖	1318	47368	39079
101	千葉県 館山市	独立	1.88%	鴨川	564	0.00%			29924	25365
102	千葉県 鴨川市	独立	4.60%	館山	845	0.00%			18351	15252
104	千葉県 天津小湊町	独立	4.67%	鴨川	435	0.00%			9321	3114
105	新潟県 三条市	独立	3.64%	栄町	1890	3.51%	加茂	1821	51952	41154
106	新潟県 柏崎市	独立	2.01%	長岡	1012	0.00%			50365	46800
112	新潟県 村上市	独立	3.92%	神林	703	0.00%			17932	14641
117	新潟県 両津市	独立	3.93%	金井	467	0.00%			11894	10449
144	石川県 七尾市	独立	2.30%	金沢	687	0.00%			29863	25923
145	石川県 輪高市	独立	1.23%	穴水	225	0.00%			18301	17342
146	石川県 珠洲市	独立	2.52%	内浦	357	0.00%			14183	13148
153	福井県 敦賀市	独立	2.39%	美浜	949	0.00%			39700	37065
155	福井県 小浜市	独立	3.20%	大飯	616	0.00%			19253	17181
172	岐阜県 高山市	独立	1.52%	古川	610	0.00%			40118	37605
175	岐阜県 八幡町	独立	3.27%	美並	324	0.00%			9911	8322
178	静岡県 下田市	独立	2.28%	東伊豆	396	2.00%	伊東	347	17367	15563
185	三重県 尾鷲市	独立	3.83%	海山	543	0.00%			14166	12884
188	三重県 熊野市	独立	3.97%	御浜	474	0.00%			11942	10383
194	京都府 福知山市	独立	3.45%	綾部	1343	0.00%			38948	35569
195	京都府 舞鶴市	独立	2.65%	福知山	1425	1.31%	綾部	703	53758	49117
197	京都府 宮津市	独立	4.82%	岩滝町	737	4.66%	舞鶴	712	15277	12697
198	京都府 峰山町	独立	4.72%	大宮	419	0.00%			8886	7359
199	兵庫県 洲本市	独立	2.24%	津名	549	0.00%			24491	21790
200	兵庫県 豊岡市	独立	2.53%	日高	706	2.07%	城之崎	577	27908	24849
207	和歌山県 田辺市	独立	3.56%	上高田	1338	3.53%	白浜	1325	37576	33075
208	和歌山県 新宮市	独立	4.15%	那智勝浦	732	0.00%			17640	15507
209	鳥取県 倉吉市	独立	2.06%	三朝	615	1.93%	大妻	576	29830	25634
212	鳥根県 浜田市	独立	3.41%	江津	932	0.00%			27363	25244
213	鳥根県 出雲市	独立	3.84%	松江	1837	3.08%	斐川	1475	47848	40928
214	鳥根県 益田市	独立	1.58%	浜田	479	0.00%			30322	28658
220	鳥根県 西郷町	独立	0.00%			0.00%			7596	7336
221	岡山県 津山市	独立	2.07%	勝央	1046	0.00%			50517	45341
223	広島県 三原市	独立	3.82%	尾道	1771	3.27%	本郷	1518	46374	38527
224	広島県 三次市	独立	2.53%	庄原	582	1.69%	広島	390	23011	20357
226	山口県 萩市	独立	2.46%	長門	697	0.00%			28331	25605
227	山口県 柳井市	独立	3.75%	平生	748	3.65%	岩国	728	19948	15029
230	香川県 観音寺市	独立	3.33%	豊中	880	3.20%	高瀬	845	26399	19733
232	愛媛県 宇和島市	独立	2.05%	吉田	739	0.00%			36119	33650
233	愛媛県 八幡浜市	独立	4.96%	保内	1053	2.98%	大洲	634	21250	18362
235	愛媛県 大洲市	独立	3.73%	八幡浜	829	0.00%			22222	19277
243	福岡県 黒木町	独立	4.62%	八女	378	0.00%			8189	7195
244	佐賀県 伊万里市	独立	2.74%	有田	919	2.03%	唐津	680	33579	29343

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村名	圏域類型	(B)/(A)	流出先市町村 (B)	最流出人数 (B)	(C)/(A)	流出先市町村 (C)	次点流出人数 (C)	就業者人数合計 (A)	居住地内就業者数
245	佐賀県 武雄市	独立	4.25%	佐賀	829	3.25%	伊万里	634	19496	13637
248	長崎県 島原市	独立	1.71%	有明	491	0.00%			28740	21086
251	長崎県 平戸市	独立	2.03%	田平	289	0.00%			14238	13115
252	熊本県 人吉市	独立	4.90%	錦	1055	0.00%			21540	18610
253	大分県 日田市	独立	0.90%	天瀬	325	0.00%			36039	33467
254	大分県 佐伯市	独立	2.34%	弥生	622	0.00%			26635	24145
256	大分県 竹田市	独立	2.36%	大分	276	0.00%			11688	10483
261	宮崎県 日南市	独立	2.94%	南郷	750	0.00%			25502	23108
262	宮崎県 日向市	独立	4.74%	延岡	1482	2.59%	内川	812	31291	27313
1	青森県 黒石市	依存	10.58%	弘前	2402	2.36%	青森	535	22699	17960
3	青森県 三戸町	依存	7.39%	八戸	610	3.28%	南部	271	8259	6639
6	岩手県 花巻市	依存	7.16%	北上	3069	3.31%	盛岡	1420	42872	35294
11	岩手県 陸前高田市	依存	12.74%	大船渡	1938	2.69%	気仙沼	409	15211	12091
13	岩手県 江刺市	依存	13.71%	大船渡	3013	3.84%	北上	844	21980	17040
15	岩手県 前沢町	依存	15.83%	水沢	1582	5.99%	一関	598	9991	6959
17	岩手県 山田町	依存	11.78%	宮古	1470	3.14%	釜石	392	12476	9673
18	岩手県 一戸町	依存	9.58%	二戸	1025	0.00%			10695	8828
19	宮城県 気仙沼市	依存	5.92%	唐桑	2515	5.00%	本宮	2124	42506	34936
20	宮城県 登米町	依存	8.92%	迫	317	0.00%			3554	2524
26	秋田県 矢島町	依存	11.35%	本荘	479	0.00%			4220	3464
27	秋田県 角館町	依存	5.02%	大曲	448	0.00%			8922	7240
31	山形県 上山市	依存	26.91%	山形	6074	0.00%			22574	15564
33	山形県 天童市	依存	21.13%	山形	7218	6.66%	東根	2276	34158	22638
34	山形県 南陽市	依存	8.93%	米沢	1905	4.90%	高畠	1045	21335	15987
35	福島県 白河市	依存	8.08%	西郷	2091	0.00%			25874	20613
36	福島県 須賀川市	依存	15.65%	郡山	5496	3.28%	鏡石	1150	35107	26127
37	福島県 喜多方市	依存	7.12%	会津若松	1499	0.00%			21055	14210
38	福島県 二本松市	依存	9.99%	福島	2037	5.88%	郡山	1200	20399	14210
39	福島県 桑折町	依存	27.42%	福島	2376	0.00%			8666	4603
40	福島県 梁川町	依存	13.76%	福島	1824	9.83%	保原	1304	13260	8943
41	福島県 保原町	依存	22.57%	福島	3323	0.00%			14721	9460
42	福島県 川俣町	依存	14.72%	福島	1726	0.00%			11723	9162
43	福島県 本宮町	依存	20.08%	郡山	2347	0.00%			11690	7280
44	福島県 猪苗代町	依存	8.10%	会津若松	870	6.57%	郡山	705	10735	8349
45	福島県 会津坂下町	依存	15.75%	会津若松	1886	0.00%			11974	8979
46	福島県 会津高田町	依存	25.05%	会津若松	2361	0.00%			9427	6375
47	福島県 本郷町	依存	34.46%	会津若松	1226	0.00%			3558	1852
48	福島県 棚倉町	依存	6.11%	白河	583	0.00%			9549	7511
49	福島県 三春町	依存	31.04%	郡山	3403	0.00%			10963	6738
50	福島県 浪江町	依存	9.37%	大熊町	1211	5.17%	双葉町	668	12918	9522
52	茨城県 結城市	依存	6.59%	下館	2053	0.00%			31146	19114
53	茨城県 那珂湊	依存	15.35%	水戸	2814	13.68%	勝田	2508	18330	10238
55	茨城県 常陸太田市	依存	5.81%	勝田	1285	0.00%			22131	12349
56	茨城県 高萩市	依存	25.10%	日立	4817	5.53%	北茨城	1061	19194	11722
57	茨城県 北茨城市	依存	15.57%	日立	4262	7.90%	高萩	2163	27375	18714
58	茨城県 笠間市	依存	12.19%	水戸	2196	6.27%	友部	1129	18018	11484
59	茨城県 小川町	依存	6.61%	石岡	724	4.19%	土浦	459	10954	7415
60	茨城県 大洗町	依存	19.11%	水戸	2290	4.83%	那珂湊	579	11981	7373
61	茨城県 大宮町	依存	13.74%	水戸	2150	4.79%	勝田	749	15645	9849
62	茨城県 鉾田町	依存	5.16%	水戸	856	2.54%	玉造	421	16602	12653
63	茨城県 鹿嶋町	依存	8.54%	神栖	2074	2.82%	潮来	686	24293	19448
64	茨城県 鹿生町	依存	6.51%	鹿嶋	669	6.59%	潮来	677	10276	6871
65	茨城県 潮来町	依存	17.08%	鹿嶋	2304	7.73%	神栖	1043	13490	7788
66	茨城県 真壁町	依存	9.57%	下館	1145	3.83%	つくば	458	11962	8096
67	栃木県 佐野市	依存	6.69%	足利	3233	0.00%			48298	36584
68	栃木県 鹿沼市	依存	12.57%	宇都宮	6691	0.00%			53210	41945
69	栃木県 日光市	依存	10.24%	今市	1240	5.61%	宇都宮	680	12111	9298
70	栃木県 今市市	依存	12.40%	宇都宮	4015	7.48%	日光	2420	32369	21348
71	栃木県 真岡市	依存	7.91%	宇都宮	2909	0.00%			36755	29109
72	栃木県 大田原市	依存	8.54%	西那須野	2624	3.66%	矢板	1125	30733	22747
73	栃木県 茂木町	依存	8.00%	宇都宮	913	7.77%	真岡	887	11413	7814
74	栃木県 壬生町	依存	17.87%	宇都宮	4300	6.31%	栃木	1519	24059	14103
75	栃木県 氏家町	依存	19.15%	宇都宮	2764	0.00%			14431	8424
76	栃木県 喜連川町	依存	9.51%	宇都宮	632	7.32%	氏家	486	6643	4398
77	栃木県 烏山町	依存	9.82%	宇都宮	1211	0.00%			12331	9085

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村名	圏域類型	(B)/(A)	流出先市町村 (B)	最流出人数 (B)	(C)/(A)	流出先市町村 (C)	次点流出人数 (C)	就業者人数合計 (A)	居住地内就業者数
78	栃木県 田沼町	依存	21.91%	佐野	3687	7.24%	足利	1218	16831	9293
79	栃木県 葛生町	依存	15.72%	佐野	1229	0.00%			7817	4885
81	群馬県 渋川市	依存	13.03%	前橋	3514	5.83%	高崎	1572	26963	17302
82	群馬県 藤岡市	依存	5.64%	高崎	4845	1.57%	前橋	1349	85901	23705
83	群馬県 富岡市	依存	16.87%	高崎	4940	0.00%			29287	22197
84	群馬県 安中市	依存	18.75%	高崎	4940	0.00%			26348	17300
85	群馬県 伊香保町	依存	11.54%	渋川	374	4.97%	前橋	161	3241	2435
86	群馬県 新町	依存	15.96%	藤岡	1289	14.40%	高崎	1163	8074	3616
87	群馬県 鬼石町	依存	16.36%	藤岡	794	0.00%			4854	2802
88	群馬県 吉井町	依存	17.95%	高崎	2502	7.91%	藤岡	1102	13938	7699
89	群馬県 下仁田町	依存	14.39%	富岡	1311	0.00%			9108	5652
90	群馬県 甘楽町	依存	19.60%	富岡	1700	0.00%			8675	5051
91	群馬県 松井田町	依存	17.52%	安中	1920	14.03%	高崎	1537	10956	6325
92	群馬県 中之条町	依存	9.28%	吾妻	1071	5.95%	渋川	687	11538	8335
93	群馬県 吾妻町	依存	12.81%	中之条	1222	5.43%	渋川	518	9543	3599
94	群馬県 境町	依存	18.82%	伊勢佐木	3418	6.39%	太田	1160	18157	9427
95	群馬県 水村町	依存	16.30%	高崎	2314	12.49%	前橋	1772	14192	6662
96	群馬県 尾島町	依存	20.44%	太田	1832	0.00%			8962	4584
97	群馬県 大間々町	依存	25.00%	桐生	3396	0.00%			13582	6086
98	埼玉県 秩父市	依存	5.12%	横瀬	1731	3.91%	皆野	1321	33805	24989
99	埼玉県 秩父市	依存	10.89%	本莊	1250	0.00%			11478	6633
103	千葉県 小見川町	依存	7.79%	佐原	1153	7.64%	鹿島	1131	14796	8564
107	新潟県 新発田市	依存	10.95%	新潟	4860	0.00%			44369	34154
108	新潟県 新津市	依存	27.98%	新潟	9814	3.62%	五泉	1270	35081	18577
109	新潟県 小千谷市	依存	10.04%	長岡	2574	0.00%			25643	21499
110	新潟県 加茂市	依存	12.57%	三条	2587	0.00%			20580	14798
111	新潟県 見附市	依存	19.31%	長岡	4993	0.00%			25855	17889
113	新潟県 燕市	依存	8.09%	三条	2350	5.80%	吉田	1685	29052	22054
114	新潟県 燕尾市	依存	13.32%	長岡	2219	0.00%			16658	13365
115	新潟県 糸魚川市	依存	8.14%	青梅	1613	0.00%			19814	17096
116	新潟県 五泉市	依存	9.38%	新潟	2203	6.55%	新津市	1537	23474	16987
118	新潟県 白根市	依存	15.79%	新潟	3410	0.00%			21596	14285
119	新潟県 水原町	依存	14.09%	新潟	1616	5.98%	新発田	686	11468	6878
120	新潟県 小須戸町	依存	17.37%	新潟	1023	8.37%	新津	493	5888	3060
121	新潟県 村松町	依存	15.44%	五泉	1875	5.20%	新潟	632	12143	8343
122	新潟県 亀田町	依存	44.60%	新潟	7682	0.00%			17226	7927
123	新潟県 分水町	依存	10.38%	燕	972	8.80%	吉田	824	9368	5407
124	新潟県 津川町	依存	6.79%	鹿瀬	222	0.00%			3271	2421
125	新潟県 互板町	依存	30.09%	長岡	1317	0.00%			4377	2536
126	新潟県 能生町	依存	15.71%	糸魚川	1158	0.00%			7369	4998
127	新潟県 相川町	依存	7.29%	佐和田	475	0.00%			6520	5611
128	富山県 新湊市	依存	18.96%	高岡	4422	11.98%	富山	2794	23323	14086
129	富山県 魚津市	依存	9.98%	黒部	3033	8.53%	富山	2592	30394	21629
130	富山県 氷見市	依存	25.28%	高岡	9084	2.91%	富山	1045	35931	23374
131	富山県 滑川市	依存	23.37%	富山	4354	8.98%	魚津	1674	18634	10536
132	富山県 黒部市	依存	12.48%	魚津	2808	6.34%	富山	1427	22499	16292
133	富山県 砺波市	依存	15.16%	高岡	3444	4.74%	福野	1078	22723	13654
134	富山県 小矢部市	依存	10.29%	高岡	2295	5.29%	金沢	1179	22295	14876
135	富山県 立山町	依存	35.88%	富山	6127	0.00%			17074	8753
136	富山県 朝日町	依存	13.18%	入善	1374	9.25%	黒部	964	10427	6320
137	富山県 八尾町	依存	25.15%	富山	3377	7.66%	婦中	1028	13429	8081
138	富山県 大門町	依存	27.83%	高岡	2100	9.53%	富山	719	7546	3205
139	富山県 城端町	依存	10.17%	福光	723	5.77%	砺波	410	7111	4549
140	富山県 井波町	依存	6.60%	福野	464	6.47%	高岡	455	7030	4223
141	富山県 福野町	依存	8.88%	砺波	843	7.75%	高岡	736	9491	5604
142	富山県 福光町	依存	5.57%	高岡	774	5.22%	砺波	726	13902	9635
143	富山県 福岡町	依存	27.29%	高岡	2105	0.00%			7714	3999
147	石川県 加賀市	依存	8.58%	小松	3649	2.78%	金沢	1183	42529	35397
148	石川県 羽咋市	依存	9.07%	金沢	1477	0.00%			16291	11384
149	石川県 松任市	依存	31.95%	金沢	10978	0.00%			34359	18419
150	石川県 美川町	依存	21.29%	金沢	1530	9.67%	小松	695	7188	3494
151	石川県 鶴来町	依存	31.74%	金沢	3832	9.03%	野々市	1090	12072	5602
152	石川県 津幡町	依存	39.89%	金沢	6288	0.00%			15763	7664
154	福井県 武生市	依存	8.65%	福井	3706	7.77%	鯖江	3329	42841	33973
156	福井県 大野市	依存	9.38%	福井	2339	3.92%	勝山	976	24926	20890
157	福井県 勝山市	依存	11.36%	福井	2066	4.86%	大野	884	18186	14483



第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	市町村名	圏域類型	(B)/(A)	流出先市町村 (B)	最流出人数 (B)	(C)/(A)	流出先市町村 (C)	次点流出人数 (C)	就業者人数 合計(A)	居住地内 就業者数
158	福井県 鯖江市	依存	14.00%	福井	5385	11.01%	武生	4235	38458	27341
159	福井県 三国町	依存	16.89%	福井	2345	0.00%			13885	9483
160	福井県 金津町	依存	16.93%	福井	1852	0.00%			10936	6399
161	福井県 丸岡町	依存	26.26%	福井	4654	0.00%			17721	10035
162	長野県 飯田市	依存	5.69%	上郷	3215	0.00%			56529	49041
163	長野県 須坂市	依存	22.44%	長野	7279	3.63%	中野	1177	32444	22627
164	長野県 小諸市	依存	9.78%	佐久	2563	3.85%	上田	1010	26215	19016
165	長野県 中野市	依存	9.71%	長野	2531	4.55%	須坂	1185	26055	20408
166	長野県 大町市	依存	5.38%	松本	1043	0.00%			19387	15570
167	長野県 飯山市	依存	6.10%	長野	1083	0.00%			17752	14755
168	長野県 更埴市	依存	25.41%	長野	5671	4.61%	戸倉	1030	22319	13632
169	長野県 佐久市	依存	6.07%	小諸	2211	4.05%	巨田	1477	36444	29456
170	長野県 高遠町	依存	26.00%	伊那	1242	0.00%			4777	2373
171	長野県 上松町	依存	13.37%	木曾福島	513	0.00%			3836	2753
173	岐阜県 中津川市	依存	8.07%	恵那	2524	0.00%			31272	25061
174	岐阜県 美濃市	依存	14.65%	関	2240	7.07%	岐阜	1081	15288	10420
176	岐阜県 古川町	依存	18.48%	高山	1796	0.00%			9720	7101
177	静岡県 島田市	依存	7.28%	御殿場	3271	7.06%	静岡	3170	44914	30472
179	静岡県 蒲原町	依存	11.06%	清水	988	10.31%	富士	921	8933	5287
180	静岡県 由比町	依存	18.55%	清水	1211	11.00%	静岡	718	6530	3235
181	静岡県 岡部町	依存	21.97%	静岡	1799	16.61%	藤枝	1360	8190	3605
182	静岡県 金谷町	依存	13.87%	島田	1847	0.00%			13318	7842
183	愛知県 新城市	依存	10.29%	豊川	2226	9.70%	豊橋	2097	21627	14704
184	三重県 上野市	依存	5.61%	名張	1939	0.00%			34558	27560
186	三重県 亀山市	依存	17.17%	鈴鹿	3702	8.06%	四日市	1738	21564	12877
187	三重県 鳥羽市	依存	10.66%	伊勢	1673	0.00%			15690	12723
189	三重県 久居市	依存	30.03%	津	6840	0.00%			22780	11158
190	三重県 関町	依存	14.79%	亀山	639	8.54%	津	369	4320	2214
191	三重県 玉城町	依存	18.81%	伊勢	1381	0.00%			7340	3565
192	滋賀県 長浜市	依存	5.82%	彦根	1849	2.32%	虎姫	738	31764	23987
193	滋賀県 日野町	依存	10.14%	水口	1258	6.95%	四日市	862	12405	7349
196	京都府 綾部市	依存	10.50%	福知山	2597	3.43%	舞鶴	849	24735	20657
201	兵庫県 龍野市	依存	21.32%	姫路	4762	5.59%	太子	1248	22338	13005
202	兵庫県 赤穂市	依存	8.94%	姫路	2352	6.38%	豊岡	1678	26309	19510
203	兵庫県 山崎町	依存	9.01%	姫路	1296	3.82%	龍野	550	14388	10577
204	兵庫県 出石町	依存	17.15%	豊岡	1083	0.00%		0	6315	4577
205	兵庫県 船原町	依存	8.70%	水上	463	0.00%			5319	3774
206	兵庫県 津名町	依存	11.95%	洲本	1121	0.00%			9380	7195
210	鳥取県 境港市	依存	19.05%	米子	3963	0.00%			20803	15909
211	鳥取県 淀江町	依存	40.47%	米子	2260	0.00%			5585	2674
215	鳥取県 安来市	依存	8.75%	松江	1712	0.00%			19568	15229
216	鳥取県 平田市	依存	15.05%	出雲	2713	10.98%	松江	1980	18029	11526
217	鳥取県 広瀬町	依存	19.66%	安来	1195	0.00%			6077	4027
218	鳥取県 大社町	依存	29.22%	出雲	2895	0.00%			9907	5913
219	鳥取県 津和野町	依存	6.00%	益田	250	0.00%			4164	3621
222	広島県 竹原市	依存	6.91%	三原	1322	0.00%			19133	14368
225	広島県 瀬戸田町	依存	13.46%	因島	810	0.00%			6020	4940
228	徳島県 鳴門市	依存	13.90%	徳島	4996	0.00%			35930	27741
229	香川県 坂出市	依存	6.96%	丸亀	2441	3.41%	宇多津	1197	35088	24483
231	香川県 多度津町	依存	18.99%	丸亀	2505	7.70%	高松	1016	13191	6973
234	愛媛県 西条市	依存	11.00%	新居浜	3288	0.00%			29904	24307
236	愛媛県 伊予市	依存	30.80%	松山	5185	0.00%			16832	9809
237	愛媛県 長浜町	依存	12.63%	大洲	749	0.00%			5929	4618
238	愛媛県 内子町	依存	9.00%	大洲	638	3.64%	松山	258	7085	5588
239	愛媛県 宇和町	依存	5.91%	八幡浜	561	0.00%			9500	7830
240	愛媛県 吉田町	依存	13.44%	宇和島	1128	0.00%			8391	6581
241	高知県 南国市	依存	29.51%	高知	7786	0.00%			26383	16787
242	高知県 須崎市	依存	7.40%	高知	1261	0.00%			17043	14760
246	佐賀県 小城市	依存	22.91%	佐賀	1948	0.00%			8502	4562
247	佐賀県 有田町	依存	6.16%	伊万里	509	0.00%			8264	6239
249	長崎県 諫早市	依存	9.99%	長崎	4781	3.50%	大村	1675	47840	34287
250	長崎県 大村市	依存	7.70%	諫早	2974	3.94%	長崎	1522	38615	32583
255	大分県 臼杵市	依存	11.48%	大分	2235	5.05%	津久見	983	19473	15675
257	大分県 豊後高田市	依存	9.00%	宇佐	992	0.00%			11017	8887
258	大分県 杵築市	依存	6.53%	日出	792	5.16%	別府	625	12122	93177
259	大分県 日出町	依存	17.00%	別府	2121	11.20%	大分	1398	12478	7445
260	大分県 佐賀関町	依存	34.76%	大分	2726	0.00%			7843	4841

## 4-5-2 現状の独立度の特性

もう一度4-3-2と同様に現状の独立度の差異によって、その都市の特性が見られるか検討する。使用する関連指標は前節と同様の95人口規模と85-95人口増減率である。集計結果を表4-10、4-11に示す。

それぞれの指標の差の検定結果から、人口規模、人口増減率共に1%有意となり、両指標共に明らかに差異がみられることが確認された。それぞれの平均値の違いに着目すると人口規模の平均値の差から独立都市程人口規模が大きいことがわかり、人口増減の平均値からは独立都市程、減少率が高いこともわかる。

つまり、独立都市は規模が大きいにもかかわらず、減少傾向が強いことが明かとなり、依存都市程人口規模は小さいが、減少率は低いことが明かとなった。

表4-10 独立度別95人口規模データ

	独立	依存
サンプル数	73	189
平均	47004.630	31378.101
標準偏差	22531.267	19687.323

\* 差の検定結果 1%有意

表4-11 独立度別85-95人口増減比データ

	独立	依存
サンプル数	73	189
平均	-0.084	-0.046
標準偏差	0.067	0.077

\* 差の検定結果 1%有意

## 4-6 基準に基づく歴史的小都市の類型化と特性の把握

## 4-6-1 3指標による歴史的小都市の分類

ここでは、これまでに歴史的小都市を分類してきた中心指標である成立基盤、市街地変容、独立度の3指標を組み合わせて、歴史的小都市を8つの類型に仮分類する(表4-12左欄)。これまでに3指標の区分は人口指標に関してはそれぞれ有意であることも確認されているために、それぞれの指標を独立指標として用いることが可能であると判断できる<sup>注4)</sup>。

集計結果を表4-12左欄、集計の詳細データを表4-13左欄に示す。

まず、類型別の構成比をみると、「非城下・非拡大・依存」である類型Hが31.3%と極めて高く、ついで「非城下・拡大・依存」類型Fの18.3%、「城下・非拡大・依存」類型Dの12.2%と続く。反対に最も低いものは「城下・非拡大・独立」の類型Cでわずか3.8%、ついで「非城下・拡大・独立」類型Eの7.3%と続くことから依存型のサンプル数が多く、独立型のサンプル数は少ないことが確認できる。

表4-12 歴史的小都市の仮類型別基礎データ(平均値)

類型名	都市数	構成比	95人口規模 (人)	85-95 人口増減率	95昼夜間 人口比	88-94 商業売上げ 額増減率	95財政力 指数	95D I D 保有率	95商・近 商指定率
A 城・拡大・独立	30	11.5%	58813	-6.28%	107.27%	16.66%	57.43%	100.00%	93.33%
B 城・拡大・依存	27	10.3%	48509	-3.80%	96.96%	24.00%	58.48%	92.59%	96.30%
C 城・非大・独立	10	3.8%	34055	-10.24%	103.65%	18.54%	40.30%	80.00%	100.00%
D 城・非大・依存	32	12.2%	27389	-4.37%	97.72%	20.80%	45.72%	56.25%	81.25%
E 非城・拡大・独立	19	7.3%	51502	-8.65%	105.15%	19.55%	56.26%	100.00%	89.47%
F 非城・拡大・依存	48	18.3%	35800	-5.33%	98.19%	19.75%	58.92%	89.58%	85.42%
G 非城・非大・独立	14	5.3%	24848	-11.41%	99.51%	15.67%	38.86%	71.43%	57.14%
H 非城・非大・依存	82	31.3%	24706	-4.64%	94.27%	30.45%	48.60%	43.90%	81.71%
総計	262	100.0%	35732	-5.70%	98.60%	23.03%	51.89%	72.14%	85.11%

\* 全国平均17.15%

表4-13 歴史的小都市の類型別詳細基礎データ

コード	都道府県	類型	類型名	95昼夜間 人口比	88-94商業売上げ高 増減率	95財政力 指数	95DID 有無	95用途 有無
5	岩手県 水沢市	城・拡大・独	A	106.9%	24.50%	0.57	○	○
10	岩手県 一関市	城・拡大・独	A	109.1%	17.98%	0.58	○	○
22	秋田県 横手市	城・拡大・独	A	116.1%	25.66%	0.52	○	○
23	秋田県 大館市	城・拡大・独	A	105.0%	28.45%	0.52	○	○
24	秋田県 本庄市	城・拡大・独	A	106.0%	26.39%	0.48	○	○
28	山形県 米沢市	城・拡大・独	A	107.1%	27.39%	0.57	○	○
29	山形県 鶴岡市	城・拡大・独	A	105.6%	25.68%	0.53	○	○
30	山形県 新庄市	城・拡大・独	A	112.5%	3.85%	0.52	○	○
51	茨城県 下館市	城・拡大・独	A	104.3%	3.11%	0.78	○	○
105	新潟県 三条市	城・拡大・独	A	106.7%	11.44%	0.76	○	○
153	福井県 敦賀市	城・拡大・独	A	103.7%	12.43%	1.1	○	○
155	福井県 小浜市	城・拡大・独	A	105.7%	17.23%	0.46	○	○
172	岐阜県 高山市	城・拡大・独	A	107.7%	19.24%	0.7	○	○
194	京都府 福知山市	城・拡大・独	A	113.3%	21.93%	0.66	○	○
195	京都府 舞鶴市	城・拡大・独	A	99.3%	17.81%	0.57	○	○
197	京都府 宮津市	城・拡大・独	A	102.6%	1.21%	0.56	○	×
198	京都府 峰山町	城・拡大・独	A	116.9%	11.27%	0.47	○	×
199	兵庫県 洲本市	城・拡大・独	A	110.2%	12.49%	0.62	○	○
200	兵庫県 豊岡市	城・拡大・独	A	111.3%	22.15%	0.55	○	○
207	和歌山県 田辺市	城・拡大・独	A	102.1%	22.87%	0.51	○	○
208	和歌山県 新宮市	城・拡大・独	A	107.9%	9.80%	0.47	○	○
209	鳥取県 倉吉市	城・拡大・独	A	113.1%	24.78%	0.46	○	○
221	岡山県 津山市	城・拡大・独	A	110.7%	18.05%	0.63	○	○
223	広島県 三原市	城・拡大・独	A	102.1%	25.06%	0.8	○	○
232	愛媛県 宇和島市	城・拡大・独	A	105.2%	42.06%	0.45	○	○
248	長崎県 島原市	城・拡大・独	A	107.0%	-4.29%	0.45	○	○
252	熊本県 人吉市	城・拡大・独	A	107.2%	-14.40%	0.46	○	○
253	大分県 日田市	城・拡大・独	A	104.9%	20.66%	0.55	○	○
254	大分県 佐伯市	城・拡大・独	A	105.6%	10.40%	0.5	○	○
261	宮崎県 日南市	城・拡大・独	A	102.3%	14.46%	0.43	○	○
1	青森県 黒石市	城・拡大・依	B	98.9%	16.74%	0.34	○	○
6	岩手県 花巻市	城・拡大・依	B	100.5%	19.49%	0.51	○	○
31	山形県 上山市	城・拡大・依	B	90.4%	26.56%	0.42	○	○
64	茨城県 麻生町	城・拡大・依	B	92.8%	18.49%	0.39	×	○
67	栃木県 佐野市	城・拡大・依	B	105.2%	16.36%	0.83	○	○
107	新潟県 新発田市	城・拡大・依	B	102.8%	17.38%	0.62	○	○
108	新潟県 新津市	城・拡大・依	B	84.5%	24.48%	0.52	○	○
113	新潟県 燕市	城・拡大・依	B	104.7%	21.57%	0.77	○	○
122	新潟県 亀田町	城・拡大・依	B	90.5%	55.70%	0.65	○	○
129	富山県 魚津市	城・拡大・依	B	101.3%	-0.72%	0.71	○	○
147	石川県 加賀市	城・拡大・依	B	97.6%	16.19%	0.75	○	○
156	福井県 大野市	城・拡大・依	B	94.3%	8.31%	0.47	○	○
157	福井県 勝山市	城・拡大・依	B	93.2%	25.57%	0.47	○	○
158	福井県 鯖江市	城・拡大・依	B	99.8%	12.96%	0.69	○	○
161	福井県 丸岡町	城・拡大・依	B	85.6%	50.45%	0.62	○	○
162	長野県 飯田市	城・拡大・依	B	104.3%	35.54%	0.6	○	○
167	長野県 飯山市	城・拡大・依	B	99.1%	20.10%	0.36	○	○
184	三重県 上野市	城・拡大・依	B	104.5%	8.40%	0.67	○	○
186	三重県 亀山市	城・拡大・依	B	93.5%	43.61%	0.82	○	○
189	三重県 久居市	城・拡大・依	B	91.2%	60.32%	0.67	○	○
196	京都府 綾部市	城・拡大・依	B	97.6%	-0.24%	0.45	○	○
202	兵庫県 赤穂市	城・拡大・依	B	93.4%	15.84%	0.82	○	○
231	香川県 多度津町	城・拡大・依	B	98.5%	8.96%	0.69	○	○
234	愛媛県 西条市	城・拡大・依	B	102.3%	38.46%	0.8	○	○
240	愛媛県 吉田町	城・拡大・依	B	97.2%	18.19%	0.21	×	×
250	長崎県 大村市	城・拡大・依	B	95.9%	51.07%	0.52	○	○
255	大分県 臼杵市	城・拡大・依	B	98.3%	18.25%	0.42	○	○

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	都道府県	類型	類型名	95昼夜間人口比	88-94商業売上げ高増減率	95財政力指数	95DID有無	95用途有無
9	岩手県 遠野市	城・非大・独	C	98.1%	52.22%	0.23	○	○
25	秋田県 湯沢市	城・非大・独	C	109.3%	8.14%	0.44	○	○
80	群馬県 沼田市	城・非大・独	C	100.4%	31.79%	0.59	○	○
112	新潟県 村上市	城・非大・独	C	111.5%	23.28%	0.54	○	○
175	岐阜県 八幡町	城・非大・独	C	102.0%	15.97%	0.33	○	○
212	島根県 浜田市	城・非大・独	C	106.0%	7.46%	0.55	○	○
226	山口県 萩市	城・非大・独	C	101.6%	-7.90%	0.47	○	○
235	愛媛県 大洲市	城・非大・独	C	103.0%	40.40%	0.41	○	○
251	長崎県 平戸市	城・非大・独	C	100.0%	8.91%	0.21	×	○
256	大分県 竹田市	城・非大・独	C	104.6%	5.16%	0.26	×	○
3	青森県 三戸町	城・非大・依	D	100.0%	6.15%	0.25	×	○
13	岩手県 江刺市	城・非大・依	D	91.4%	52.52%	0.29	×	○
20	宮城県 登米町	城・非大・依	D	109.7%	7.59%	0.21	×	×
27	秋田県 角館町	城・非大・依	D	111.8%	7.91%	0.27	○	○
35	福島県 白河市	城・非大・依	D	109.6%	22.34%	0.66	○	○
38	福島県 二本松市	城・非大・依	D	100.3%	29.47%	0.55	○	○
44	福島県 猪苗代町	城・非大・依	D	92.3%	35.30%	0.5	×	○
48	福島県 棚倉町	城・非大・依	D	106.3%	18.24%	0.45	×	○
49	福島県 三春町	城・非大・依	D	93.5%	42.30%	0.38	×	○
52	茨城県 結城市	城・非大・依	D	92.9%	23.29%	0.62	○	○
55	茨城県 常陸太田市	城・非大・依	D	87.9%	4.37%	0.5	○	○
58	茨城県 笠間市	城・非大・依	D	89.5%	21.17%	0.51	○	○
72	栃木県 大田原市	城・非大・依	D	106.5%	9.64%	0.77	○	○
74	栃木県 壬生町	城・非大・依	D	89.0%	34.47%	0.69	○	○
77	栃木県 烏山町	城・非大・依	D	100.7%	14.25%	0.48	○	○
84	群馬県 安中市	城・非大・依	D	95.9%	15.86%	0.66	○	○
115	新潟県 糸魚川市	城・非大・依	D	101.9%	-4.73%	0.44	○	○
121	新潟県 村松町	城・非大・依	D	89.8%	7.15%	0.33	○	○
125	新潟県 与板町	城・非大・依	D	93.5%	6.75%	0.28	×	○
154	福井県 武生市	城・非大・依	D	106.5%	12.04%	0.77	○	○
164	長野県 小諸市	城・非大・依	D	100.6%	10.59%	0.55	○	○
170	長野県 高遠町	城・非大・依	D	89.1%	-5.23%	0.24	×	○
187	三重県 鳥羽市	城・非大・依	D	105.0%	32.61%	0.63	○	○
191	三重県 玉城町	城・非大・依	D	93.9%	56.35%	0.54	×	○
201	兵庫県 龍野市	城・非大・依	D	99.9%	36.22%	0.63	○	○
203	兵庫県 山崎町	城・非大・依	D	97.9%	43.04%	0.47	○	×
204	兵庫県 出石町	城・非大・依	D	99.3%	27.67%	0.34	×	×
217	島根県 広瀬町	城・非大・依	D	84.1%	-12.61%	0.2	×	×
219	島根県 津和野町	城・非大・依	D	101.4%	1.37%	0.21	×	×
246	佐賀県 小城町	城・非大・依	D	93.8%	53.46%	0.37	○	×
258	大分県 杵築市	城・非大・依	D	99.7%	16.73%	0.33	×	○
259	大分県 日出町	城・非大・依	D	93.0%	39.44%	0.51	×	○
4	岩手県 宮古市	非・拡大・独	E	102.1%	18.42%	0.47	○	○
7	岩手県 北上市	非・拡大・独	E	111.2%	118.01%	0.54	○	○
8	岩手県 久慈市	非・拡大・独	E	101.5%	38.70%	0.43	○	○
12	岩手県 釜石市	非・拡大・独	E	105.6%	10.45%	0.47	○	○
21	秋田県 能代市	非・拡大・独	E	108.3%	21.58%	0.58	○	○
100	千葉県 銚子市	非・拡大・独	E	100.0%	9.27%	0.57	○	○
101	千葉県 館山市	非・拡大・独	E	107.5%	12.40%	0.57	○	○
106	新潟県 柏崎市	非・拡大・独	E	104.7%	19.00%	1.18	○	○
144	石川県 七尾市	非・拡大・独	E	108.4%	21.87%	0.61	○	○
145	石川県 輪島市	非・拡大・独	E	100.2%	9.59%	0.33	○	×
185	三重県 尾鷲市	非・拡大・独	E	103.9%	-15.87%	0.49	○	×
213	島根県 出雲市	非・拡大・独	E	115.2%	16.03%	0.61	○	○
214	島根県 益田市	非・拡大・独	E	102.1%	-6.90%	0.51	○	○
224	広島県 三次市	非・拡大・独	E	110.1%	0.82%	0.56	○	○
227	山口県 柳井市	非・拡大・独	E	106.4%	-5.31%	0.76	○	○
230	香川県 観音寺市	非・拡大・独	E	103.4%	15.26%	0.64	○	○
233	愛媛県 八幡浜市	非・拡大・独	E	104.3%	3.77%	0.37	○	○
244	佐賀県 伊万里市	非・拡大・独	E	101.6%	60.27%	0.49	○	○
245	佐賀県 武雄市	非・拡大・独	E	101.4%	24.01%	0.51	○	○

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	都道府県	類型	類型名	95昼夜間人口比	88-94商業売上げ高増減率	95財政力指数	95DID有無	95用途有無
17	岩手県	山田町	非・拡大・依	F	91.8%	50.30%	0.24	○
19	宮城県	気仙沼市	非・拡大・依	F	108.3%	13.82%	0.48	○
36	福島県	須賀川市	非・拡大・依	F	99.2%	25.07%	0.56	○
37	福島県	喜多方市	非・拡大・依	F	106.1%	16.82%	0.46	○
53	茨城県	那珂湊	非・拡大・依	F	86.4%	3.87%	0.86	○
56	茨城県	高萩市	非・拡大・依	F	94.6%	10.92%	0.58	○
68	栃木県	鹿沼市	非・拡大・依	F	100.2%	58.08%	0.81	○
71	栃木県	真岡市	非・拡大・依	F	108.5%	29.47%	0.93	○
79	栃木県	葛生町	非・拡大・依	F	102.0%	45.73%	0.6	×
81	群馬県	渋川市	非・拡大・依	F	104.9%	24.66%	0.78	○
86	群馬県	新町	非・拡大・依	F	89.1%	21.79%	0.52	○
94	群馬県	境町	非・拡大・依	F	87.8%	28.92%	0.64	○
98	埼玉県	秩父市	非・拡大・依	F	100.3%	28.87%	0.69	○
110	新潟県	加茂市	非・拡大・依	F	103.9%	1.59%	0.45	○
111	新潟県	見附市	非・拡大・依	F	91.3%	-2.82%	0.53	○
116	新潟県	五泉市	非・拡大・依	F	96.1%	40.55%	0.5	○
128	富山県	新湊市	非・拡大・依	F	100.3%	38.22%	0.85	○
131	富山県	滑川市	非・拡大・依	F	91.4%	20.78%	0.62	○
132	富山県	黒部市	非・拡大・依	F	108.1%	14.87%	0.81	○
134	富山県	小矢部市	非・拡大・依	F	91.4%	10.54%	0.61	○
142	富山県	福光町	非・拡大・依	F	93.5%	12.71%	0.41	○
148	石川県	羽咋市	非・拡大・依	F	98.4%	2.78%	0.49	○
150	石川県	美川町	非・拡大・依	F	83.3%	-8.51%	0.42	×
151	石川県	鶴来町	非・拡大・依	F	86.1%	51.00%	0.52	×
152	石川県	津幡町	非・拡大・依	F	82.2%	48.45%	0.44	○
160	福井県	金津町	非・拡大・依	F	93.5%	27.14%	0.55	○
163	長野県	須坂市	非・拡大・依	F	97.0%	23.27%	0.56	○
166	長野県	大町市	非・拡大・依	F	99.4%	15.11%	0.67	○
171	長野県	上松町	非・拡大・依	F	93.5%	12.27%	0.27	×
173	岐阜県	中津川市	非・拡大・依	F	101.6%	-3.54%	0.67	○
174	岐阜県	美濃市	非・拡大・依	F	94.2%	17.17%	0.53	○
176	岐阜県	古川町	非・拡大・依	F	94.2%	8.85%	0.4	○
179	静岡県	蒲原町	非・拡大・依	F	109.2%	-0.84%	0.96	×
180	静岡県	由比町	非・拡大・依	F	76.1%	20.43%	0.46	×
182	静岡県	金谷町	非・拡大・依	F	89.6%	5.47%	0.67	○
183	愛知県	新城市	非・拡大・依	F	95.5%	10.75%	0.64	○
192	滋賀県	長浜市	非・拡大・依	F	109.2%	22.81%	0.79	○
205	兵庫県	柏原町	非・拡大・依	F	134.7%	-26.98%	0.63	×
210	鳥取県	境港市	非・拡大・依	F	102.1%	20.69%	0.58	○
215	鳥根県	安来市	非・拡大・依	F	103.2%	-2.92%	0.49	○
222	広島県	竹原市	非・拡大・依	F	96.7%	16.64%	0.64	○
228	徳島県	鳴門市	非・拡大・依	F	98.0%	21.77%	0.71	○
229	香川県	坂出市	非・拡大・依	F	107.3%	37.98%	0.97	○
239	愛媛県	宇和町	非・拡大・依	F	98.0%	39.99%	0.28	×
241	高知県	南国市	非・拡大・依	F	101.3%	84.01%	0.51	○
247	佐賀県	有田町	非・拡大・依	F	119.2%	12.84%	0.52	○
249	長崎県	諫早市	非・拡大・依	F	107.0%	24.95%	0.62	○
260	大分県	佐賀関町	非・拡大・依	F	87.0%	-28.11%	0.36	×
2	青森県	鱒ヶ沢町	非・非大・独	G	109.7%	38.67%	0.19	○
14	岩手県	二戸市	非・非大・独	G	102.1%	-6.83%	0.35	○
16	岩手県	大槌町	非・非大・独	G	87.3%	27.30%	0.26	○
32	山形県	長井市	非・非大・独	G	105.2%	17.83%	0.43	○
54	茨城県	下妻市	非・非大・独	G	102.8%	-2.76%	0.61	○
102	千葉県	鴨川市	非・非大・独	G	103.6%	36.43%	0.7	×
104	千葉県	天津小湊町	非・非大・独	G	87.1%	22.35%	0.34	×
117	新潟県	両津市	非・非大・独	G	100.3%	34.43%	0.3	×
146	石川県	珠洲市	非・非大・独	G	100.4%	19.94%	0.26	×
178	静岡県	下田市	非・非大・独	G	105.4%	-3.66%	0.69	○
188	三重県	熊野市	非・非大・独	G	102.4%	-11.97%	0.28	×
220	鳥根県	西郷町	非・非大・独	G	102.6%	24.05%	0.27	×
243	福岡県	黒木町	非・非大・独	G	90.7%	-0.54%	0.22	○
262	宮崎県	日向市	非・非大・独	G	102.4%	24.11%	0.54	○

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	都道府県	類型	類型名	95昼夜間人口比	88-94商業売上げ高増減率	95財政力指数	95DID有無	95用途有無	
11	岩手県	陸前高田市	非・非大・依	H	93.2%	23.94%	0.25	×	○
15	岩手県	前沢町	非・非大・依	H	92.9%	32.06%	0.29	×	○
18	岩手県	一戸町	非・非大・依	H	97.3%	83.72%	0.23	×	○
26	秋田県	矢島町	非・非大・依	H	109.9%	-9.66%	0.22	×	×
33	山形県	天童市	非・非大・依	H	96.9%	5.99%	0.64	○	○
34	山形県	南陽市	非・非大・依	H	94.8%	35.58%	0.41	○	○
39	福島県	桑折町	非・非大・依	H	86.5%	-15.39%	0.42	×	○
40	福島県	梁川町	非・非大・依	H	89.1%	10.71%	0.32	○	○
41	福島県	保原町	非・非大・依	H	98.5%	13.09%	0.45	○	○
42	福島県	川俣町	非・非大・依	H	95.7%	20.19%	0.32	○	×
43	福島県	本宮町	非・非大・依	H	106.6%	85.97%	0.75	○	○
45	福島県	会津坂下町	非・非大・依	H	98.6%	24.48%	0.33	×	○
46	福島県	会津高田町	非・非大・依	H	89.8%	18.48%	0.25	×	○
47	福島県	本郷町	非・非大・依	H	79.0%	22.27%	0.23	×	○
50	福島県	浪江町	非・非大・依	H	95.1%	5.21%	0.4	×	×
57	茨城県	北茨城市	非・非大・依	H	91.8%	50.50%	0.56	×	○
59	茨城県	小川町	非・非大・依	H	93.7%	27.29%	0.47	×	○
60	茨城県	大洗町	非・非大・依	H	96.5%	100.14%	0.72	○	○
61	茨城県	大宮町	非・非大・依	H	95.9%	29.24%	0.54	×	○
62	茨城県	鉾田町	非・非大・依	H	101.8%	-35.59%	0.44	×	○
63	茨城県	鹿島町	非・非大・依	H	121.9%	23.61%	1.07	○	○
65	茨城県	潮来町	非・非大・依	H	90.7%	41.51%	0.56	×	○
66	茨城県	真壁町	非・非大・依	H	91.2%	8.11%	0.47	×	○
69	栃木県	日光市	非・非大・依	H	103.8%	1.00%	0.63	○	○
70	栃木県	今市市	非・非大・依	H	90.3%	24.04%	0.79	○	○
73	栃木県	茂木町	非・非大・依	H	90.6%	11.43%	0.44	×	×
75	栃木県	氏家町	非・非大・依	H	91.4%	25.55%	0.62	×	○
76	栃木県	喜連川町	非・非大・依	H	99.1%	35.04%	0.67	×	○
78	栃木県	田沼町	非・非大・依	H	86.4%	28.29%	0.55	○	○
82	群馬県	藤岡市	非・非大・依	H	95.2%	39.21%	0.7	○	○
83	群馬県	富岡市	非・非大・依	H	101.3%	19.21%	0.67	○	○
85	群馬県	伊香保町	非・非大・依	H	120.7%	45.71%	0.72	×	○
87	群馬県	鬼石町	非・非大・依	H	88.7%	-12.13%	0.32	×	×
88	群馬県	吉井町	非・非大・依	H	86.9%	41.08%	0.56	○	○
89	群馬県	下仁田町	非・非大・依	H	95.1%	23.80%	0.33	×	×
90	群馬県	甘楽町	非・非大・依	H	84.9%	42.06%	0.38	×	○
91	群馬県	松井田町	非・非大・依	H	85.4%	-8.35%	0.47	×	×
92	群馬県	中之条町	非・非大・依	H	98.4%	5.96%	0.4	×	○
93	群馬県	吾妻町	非・非大・依	H	93.8%	41.33%	0.35	×	○
95	群馬県	玉村町	非・非大・依	H	92.1%	92.37%	0.73	×	×
96	群馬県	尾島町	非・非大・依	H	88.9%	19.97%	0.58	×	○
97	群馬県	大間々町	非・非大・依	H	88.4%	1.90%	0.57	○	×
99	埼玉県	児玉町	非・非大・依	H	101.6%	27.52%	0.61	×	○
103	千葉県	小見川町	非・非大・依	H	90.6%	38.76%	0.57	×	○
109	新潟県	小千谷市	非・非大・依	H	101.3%	4.47%	0.58	○	○
114	新潟県	栃尾市	非・非大・依	H	91.4%	3.42%	0.3	○	○
118	新潟県	白根市	非・非大・依	H	96.7%	58.26%	0.61	○	○
119	新潟県	水原町	非・非大・依	H	94.4%	24.25%	0.43	○	○
120	新潟県	小須戸町	非・非大・依	H	88.8%	16.74%	0.34	×	○
123	新潟県	分水町	非・非大・依	H	92.5%	0.72%	0.56	○	○
124	新潟県	津川町	非・非大・依	H	107.9%	25.83%	0.23	×	○
126	新潟県	能生町	非・非大・依	H	85.7%	10.25%	0.23	×	○
127	新潟県	相川町	非・非大・依	H	98.3%	8.27%	0.25	×	×
130	富山県	永見市	非・非大・依	H	82.7%	19.29%	0.44	○	○
133	富山県	砺波市	非・非大・依	H	94.4%	11.83%	0.59	×	○
135	富山県	立山町	非・非大・依	H	81.3%	4.72%	0.49	×	○
136	富山県	朝日町	非・非大・依	H	84.4%	-0.61%	0.44	○	○
137	富山県	八尾町	非・非大・依	H	87.2%	5.72%	0.49	○	○
138	富山県	大門町	非・非大・依	H	96.0%	146.76%	0.51	×	○
139	富山県	城端町	非・非大・依	H	86.4%	13.68%	0.36	×	○

第4章 市街地の特性に基づく歴史的小都市の類型化

コード	都道府県	類型	類型名	95昼夜間人口比	88-94商業売上高増減率	95財政力指数	95DID有無	95用途有無	
140	富山県	井波町	非・非大・依	H	91.0%	9.25%	0.41	○	○
141	富山県	福野町	非・非大・依	H	103.3%	16.43%	0.47	○	○
143	富山県	福岡町	非・非大・依	H	96.9%	93.81%	0.55	×	○
149	石川県	松任市	非・非大・依	H	94.4%	60.13%	0.74	○	○
159	福井県	三国町	非・非大・依	H	95.1%	35.42%	0.7	○	○
165	長野県	中野市	非・非大・依	H	103.8%	26.28%	0.5	○	○
168	長野県	更埴市	非・非大・依	H	95.0%	27.29%	0.57	○	○
169	長野県	佐久市	非・非大・依	H	105.7%	34.22%	0.55	○	○
177	静岡県	島田市	非・非大・依	H	97.0%	19.68%	0.76	○	○
181	静岡県	岡部町	非・非大・依	H	77.7%	106.43%	0.46	×	○
190	三重県	関町	非・非大・依	H	88.6%	123.73%	0.53	×	○
193	滋賀県	日野町	非・非大・依	H	89.2%	36.13%	0.64	×	○
206	兵庫県	津名町	非・非大・依	H	103.2%	75.44%	0.53	×	×
211	鳥取県	淀江町	非・非大・依	H	81.9%	37.73%	0.89	×	×
216	島根県	平田市	非・非大・依	H	85.1%	20.62%	0.32	○	○
218	島根県	大社町	非・非大・依	H	85.8%	1.27%	0.35	○	○
225	広島県	瀬戸田町	非・非大・依	H	101.1%	23.44%	0.35	×	×
236	愛媛県	伊予市	非・非大・依	H	90.2%	39.88%	0.5	○	○
237	愛媛県	長浜町	非・非大・依	H	94.6%	102.97%	0.23	×	×
238	愛媛県	内子町	非・非大・依	H	97.3%	65.75%	0.25	×	○
242	高知県	須崎市	非・非大・依	H	103.3%	20.38%	0.41	○	×
257	大分県	豊後高田市	非・非大・依	H	99.5%	22.00%	0.29	○	○



#### 4-6-2 歴史的小都市の類型別特性

分類された各類型別に下記に示した関連指標を使用して特性を捉えることとする。平均値の集計結果は表4-12の中央から右欄に、類型別関連指標の詳細データは表4-13中央から右欄に示した。各指標別に指標の特徴及び類型別特性をみていく。

まず、用意した指標についての説明を行う。

人口データは都市の規模や活力度、都市の中心性等を図るために有効な指標であると考え、都市全体の活力を示す指標として1)人口規模、変容の度合いを捉える指標として2)人口増減率、都市の周辺に対する中心性を図る指標として3)昼夜間人口比をそれぞれ用意した。

また、歴史的市街地が商業中心であったことを受けて、都市における商業活動の状態を捉える指標として、4)商業売り上げ額増減率を、都市の財政上の活力を図る指標として5)財政力指数を用意した。なお、歴史的市街地の活性化の方策として取り組まれている観光化の動向を示す指標も市街地の活力を表すものとしてデータ収集を試みた。しかし、観光化に関する指標は、統計資料としての集計方法に統一性がなく、全国的に比較することができるような精度で収集することは不可能であることから、本論文では、独立した指標として使用することを諦めざるを得なかった。

次に歴史的市街地が元々連坦市街地であったことから、現状における市街地の居住密度を捉える指標としての6)DIDの指定率を、また歴史的市街地が依然として商業活動が成されている場として捉えられているかを示す指標として用途地域の7)商業、近商地域の指定率を用意した。

以下、指標別に考察を行っていく。

##### (1) 指標別の考察

###### 1) 95年人口規模

人口規模は、各都市における現状の活力を示す指標として使用する。

ここでは、類型A、類型Eが50000人台を越え、飛び抜けて値が高い。この2指標に共通している点は、成立基盤が異なるだけで、「市街地拡大・独立」であることは共通している。この成立基盤を除いた市街地変容・独立度が共通している類型の類似傾向は他の類型にも共通してみられる。

###### 2) 85-95年人口増減率

この指標は、各都市における人口増減を使用することによって、それぞれの都市におけるこの10年の変容の状況をしめす指標として用いた。

減少率が高く、人口が激減していると捉えられるものは、類型G、C、F、Aと続き、すべて独立型であることがわかる。また、非拡大型の方が、拡大型よりも減少が顕著であることもいえる。つまり、ここでは成立基盤とは関係なく、現状の都市の立地条件や、近代以降の市街地の変容の方が影響力が強いと捉えることができる。

### 3) 95昼夜間人口比

昼夜間人口比は、夜間人口に対する昼間人口の割合を示し、その都市において、雇用の受け皿が存在しているかを把握する指標である。昼間人口が夜間人口より大きい都市は、周辺部から就業者等が流入してきており、雇用の場が提供されている都市と捉えられる。反対に夜間人口が昼間人口より大きい都市は、周辺に位置する中心都市に対するベッドタウンとなっていると捉えられる。

昼夜間人口比が、100%以上にあたる昼間人口が夜間人口よりも高いものは、類型A、C、Eで独立型、また、類型Gは99.51%と100%を下回っているが、前述の3類型と同じ独立型にあたる。依存型はすべて昼間人口が夜間人口よりも低く、雇用の場が用意されている都市ではない場合が多いことが伺える。また、拡大型の方が、非拡大型よりも昼間人口の割合が高いこともいえ、最も影響力が高いのは、現状の周辺に対する立地条件で、次いで市街地変容のあり方によることがわかる。

### 4) 88-94商業売り上げ額増減率

この指標は、都市の商業活動の変容状況を示す指標として使用する。

ここでも、売上額の増加率の上位4つは、依存型自治体であり、また独立度に次いで影響力がある指標は市街地変容であることがわかる。つまり、商業活動が活発化するかどうかは、現状の都市の立地状況がその都市の活力に大きく関わるということが明かとなり、反対に成立基盤はほとんど関係がないことがわかる。

### 5) 95財政力指数

財政力指数は、都市の現状における財政上の活力を示す指標として使用する。

上位3類型は拡大型であることから現状の都市の財政活力には近代以降に都市がどのような変遷の遂げたかに関連があると捉えられる。また、独立度についても上位4つのうち、3つが依存型であることから関連があると見る事ができる。これに対し、成立基盤はここでもあまり関連がないことが明かとなった。

#### 6) 95D1D保有率

この指標は、都市の市街地の密度状況を表す指標として使用する。

まず、類型A、Eの2つが100%保有している点で共通していることがわかる。

また、その他の類型も成立基盤とはあまり関係なく市街地変容・独立度の指標が同様の類型どうしが類似した傾向をしめしている。

#### 7) 95商・近隣商業（以下、商・近商）地域指定率

商・近商商業地域指定率は、都市の市街地における商業系土地利用の状況を示す指標として用意した。

指定率の上位3つが城下町起源の類型で、あることから城下町起源の類型は用途地域の掛けられている度合いが高いことがいえる。しかし、商業の実態を示す指標である商業売上高の推移において、城下町起源が有意であったわけではないことから、用途地域指定は政治的意図のもとに掛けられてきた可能性があり、現実の都市空間の状況と乖離していることが推察される。

## (2) 類型別の考察

### 1) A類型 (城下町・市街地拡大・独立型)

A類型は、歴史的小都市の中では、人口の多い比較的大規模な都市多いが、人口の減少度は平均より大きい。昼夜間人口比は、8類型の中で最も昼間人口の比率が高く、雇用の場が提供されている類型であると捉えられる。一方、財政力指数は比較的に高いが、商業売上げの増加率は、G類型に次いで低い。また、すべての都市がDIDを保有し、商業系用途地域の指定率も高い。このことから、A類型は過去の蓄積によって、地域中心都市としての地位を保っているものの、近年に至って急速に停滞していると捉えることができる。

### 2) B類型 (城下町・市街地拡大・依存型)

B類型は、A、E類型に次いで、人口の多い都市で、比較的大規模でかつ、人口の減少率は最も低く、また昼夜間人口比は、他都市への流出率がH類型に次いで高い。また、財政力指数および商業売上げの増加率も全体の中で2番目に高い。また、DIDの保有率、商業系用途地域の指定率も高い。このことから、B類型は、過去の蓄積を活かしながらも、より大規模な都市に依存することによって、自都市の存続を図っていると捉えられる。

### 3) C類型 (城下町・市街地非拡大・独立型)

C類型は、人口規模が歴史的小都市の平均値程度の中規模な都市で構成されているが、人口の減少率はG類型に次いで、大きい。しかし、昼夜間人口比は、昼間人口の方が構成比が高い。但し、商業売上げの増加率および財政力指数は平均値よりも低く、下位に位置づけられる。また、商業系用途地域の指定率は100%と高いが、DIDの保有率は、80%と平均値よりも低い。これらから、C類型にあたる都市群は、歴史的小都市の中で中規模の都市で構成されており、過去においては、一定の蓄積が成されていたと思われる。しかし、近年においては、その衰退は進行していると捉えられ、また独立して成立しているというよりは、孤立していると捉えた方が適当と考えられる都市群である。

### 4) D類型 (城下町・市街地非拡大・依存型)

D類型は、人口規模が歴史的小都市の中では、小規模な都市で構成されているが、人口の減少率は8類型の中で2番目に小さい。昼夜間人口比は、流出人口の方が多く、ほぼ平均値と同じ数値である。商業売上げの増加率および財政力指数は、平均値をやや下回っている。また、DIDの保有率、商業系用途の指定率も全体の中では下位に属している。これらから、D類型は、歴史的小都市の中でも、過去において都市の発展が行われず、現在も小規模であること、また、現状はより大きな都市へ依存することによって存続を保っている都市群で構

成されていると考えられる。

#### 5) E類型（非城下町・市街地拡大・独立型）

E類型は、A類型に次いで人口が多く、人口減少の度合いは、A類型よりも高い。また、昼夜間人口比はA、C類型に次いで、昼間人口の割合が高い。財政力指数はA類型とほぼ同じで、商業売り上げの増加率はA類型よりもやや多く増加している。また、A類型と同様に、該当都市すべてがDIDを保有し、商業系用途地域の指定率も高い。このことから、E類型はA類型と類似した特性を持つ都市群であることがわかる。

#### 6) F類型（非城下町・市街地拡大・依存型）

F類型の人口規模はBタイプの次点であり、歴史的小都市の平均値とほぼ同じである。また、人口減少の度合いも平均値に近い。昼夜間人口比はB類型とほぼ同じで、他都市流出型である。商業売り上げの増加率は、第4番目であるが、財政力指数はB類型を抜いて1番目である。また、DIDの保有率はB類型に次ぐ4番目、商業系用途地域の指定率は、平均値に近い5番目である。これらのことから、F類型はB類型と類似した特性を持つ都市群で構成されていることがわかる。

#### 7) G類型（非城下町・市街地非拡大・独立型）

G類型は、歴史的小都市の中では、小規模の都市で構成されており、人口の減少率も8類型の中で最も高い。また、昼夜間人口比からは、流出人口の方が多いが、他都市に大幅に流出しているわけではない。商業売り上げの増加率、財政力指数も8類型の中で最も低い。また、DIDの保有率は6番目であるが、商業系用途地域の指定率も最も低く、唯一50%台を示している。これらのことから、G類型は歴史的小都市の中で、これまでの蓄積もあまり行われず、また現状においては最も衰退率が高く、孤立している都市群と見なされる。また、それぞれの指標が示している動向から、C類型と類似していることも明かとなった。

#### 8) H類型（非城下町・市街地非拡大・依存型）

H類型の人口規模は歴史的小都市の中で最も人口規模が小さいが、人口減少は8類型の中でD類型に次いで3番目の低さにとどまっている。昼夜間人口比は、流失人口が最も高く、他都市への依存によって成立していることがわかる。また、商業売り上げの増加率は最も高いことが特徴的である。しかし、財政力指数、DIDの保有率、商業系用途地域の指定率は低く、都市そのものの活力は弱いと見なされる。これらから、H類型は、歴史的小都市の中で、過去においては発展を遂げず、また現状に至っても最も小規模である都市群で構成されており、現状においては周辺より大きな都市に依存しながら成立していると考えられる。また、

この特性はD類型と類似していることも明かとなった。

以上の考察から8類型に仮分類された歴史的小都市において、現状の立地特性及び近代における市街地変容が異なる類型には、様々な面で差異がみられることが確認できた。これに対して、その都市の成立基盤についてはあまり影響がみられないことも明かとなった。そこで、3つの中心指標のうち、A指標を中心指標からはずし、B、Cの2指標による分類で得られる4つの類型を基本類型と見なすこととする。すなわち、市街地拡大独立型、市街地拡大依存型、市街地非拡大独立型および市街地非拡大依存型である。それぞれの類型に属する都市数および各指標の平均値は表4-14に示すとおりである。なお、A指標に関しては、以下の考察においては基本類型の下位分類を行う際の補助指標として扱うこととする。

次に、再分類を行った4類型毎に、それぞれの指標について差が見られるかについて検定を行ったところ、95人口規模、95昼夜間人口比、95財政力指数、95DID指定率は1%有意、85-95人口増減率は5%有意と類型間に差が見られることが確認できた(表4-15)。これから、この分類は統計的にも明確に有効なものであることが確認された。

表4-14 歴史的小都市の類型別基礎データ(平均値)

類型名	サンプル数		95人口	85-95人口増減率	90昼夜間人口比	88-94商業売上げ額増減率	95財政力指数	95DID保有率	95商・近商指定率
	拡大・独立	49	平均値	55978	-7.20%	106.45%	17.78%	56.98%	100.00%
		標準偏差	20762	6.46%	4.27%	19.17%	15.49%		
拡大・依存	75	平均値	40375	-4.78%	97.74%	21.28%	58.76%	90.67%	89.33%
		標準偏差	21545	6.62%	8.63%	19.06%	16.94%		
非拡大・独立	24	平均値	28684	-10.92%	101.23%	16.87%	39.46%	75.00%	75.00%
		標準偏差	12954	6.48%	5.80%	17.41%	15.82%		
非拡大・依存	114	平均値	25459	-4.57%	95.23%	27.74%	47.79%	47.37%	81.58%
		標準偏差	15867	8.39%	7.87%	29.17%	17.07%		
総計	262	平均値	35732	-5.70%	98.60%	23.03%	51.89%	72.14%	85.11%
		標準偏差	21645	7.62%	8.46%	24.32%	17.71%		

表4-15 歴史的小都市の類型別基礎データ(平均値)

	分散分析結果表					独立性検定結果表		
	95人口	85-95人口増減率	90昼夜間人口比	88-94商業売上げ額増減率	95財政力指数	X <sup>2</sup> 乗値	95DID保有率	95商・近商指定率
相関係数	0.286	0.064	0.243	0.033	0.127		66.632	5.864
F値	34.38	5.92	27.54	2.9	12.56		2.25E-14	0.118
Sig.	0.000	0.001	0.000	0.036	0.000	有意	1%有意	
有意	1%有意	5%有意		1%有意	1%有意			

最後にこれら4類型のそれぞれの特徴を指標別に記述していく。

#### 市街地拡大・独立型

この類型は、サンプル数が49で歴史的小都市の18.7%にあたる。上記に示した指標別にその特徴を捉えていく。まず、人口規模は最も高く、歴史的小都市の中でも大規模なものが多いが、人口の減少率度は平均より高く、非拡大・独立型に次いで2番目である。昼夜間人口比は4類型の中で昼間人口が最も高く、雇用の場が提供されている類型と考えられる。一方、財政力指数は平均を大きく上回り、拡大・依存型に次いで高いが、商業売上額の増減率は非拡大・独立型に次いで低い。しかし、すべての都市がDIDを保有しており、商業系用途地域率も90%を超えている。これらを総合して見ると、拡大・独立型は、近代から現在に至る蓄積によって地域中心都市として成立しているが、近年に至っては衰退の方向に進行していると捉えられる。ヒアリング調査を行った自治体では、横手、高山、豊岡、倉吉、津山、日田（以上城下町基盤）及び三次、柳井（以上非城下町基盤）がこの類型にあたる。

#### 市街地拡大・依存型

市街地拡大・依存型のサンプル数は75で、全体の28.6%にあたる。この類型は、地方小都市の中では人口規模が比較的大きく、人口増減率も平均よりも低い。また、財政力指数は4類型の中で最も高く、商業売上額、DID保有率、商業系用途地域指定率も比較的高い。但し、昼夜間人口比は平均よりも低く、他都市への流失が高いことがわかる。これらから、市街地拡大・依存型の都市群は、現代に至るまでの蓄積を活かしながら、現在は他都市に依存しながら成立している都市群といえる。ヒアリング調査を行った自治体では、大野（城下町基盤）及び五泉、鶴来、須坂、古川、長浜、竹原、有田、諫早がこれにあたる。

#### 市街地非拡大・独立型

市街地非拡大・独立型のサンプル数は24で全体の9.24%と歴史的小都市の中で最もサンプル数が少ない類型である。類型の特徴を指標別に捉えると、人口規模は拡大型と比較して小規模な都市で構成されていると考えられるが、人口の減少率は最も大きい。しかし、昼夜間人口比は、昼間人口の方が構成比が高い。但し、商業売り上げの増加率および財政力指数は最も低く、下位に位置づけられる。商業系用途地域の指定率や、DIDの保有率も拡大型と比べて低い。これらから、この類型にあたる都市群は、歴史的小都市の中では、中規模の都市で構成されているが、近年における衰退は進行していると捉えられる。また、都市の現在の位置づけは独立とはいえ、孤立していると捉えた方が適当と考えられる都市群である。ヒア

リング調査を行った自治体では、遠野、村上、竹田（城下町基盤）と長井（非城下町基盤）がこれにあたる。

#### 市街地非拡大・依存型

この類型は、サンプル数が114で歴史的小都市の43.5%にあたることから、歴史的小都市の半数近くがこの類型にあたることがわかる。類型の特徴を指標別にあげていく。人口規模は最も低く、小規模な都市で構成されていることがわかるが、人口の減少率は4類型の中で最も小さい。昼夜間人口比は、流出人口の割合が最も高いことから他都市への依存によって成立していることがわかる。また、商業売り上げの増加率は最も高い。しかし、財政力指数、DIDの保有率、商業系用途の指定率下位に属している。これらから、市街地非拡大・依存型は、歴史的小都市の中でも、近代から現代において都市の発展が進行せず、現在も小規模ではあるが、現状はより大きな都市へ依存することによって存続を保っている都市群で構成されていると捉えられる。ヒアリング調査を行った自治体では、三春、笠間、高遠、出石、津和野（城下町基盤）及び大洗、小千谷、八尾、大社がこれにあたる。

なお、ここで行った分類はあくまでも各都市を現状の自治体規模で捉えた上で、自治体単位の状況を説明する関連指標を用いて状況を考察したにすぎない。つまり、現実の歴史的市街地の現状及び変容を示すには至っていない。しかし、これまでに行った類型毎に明らかに差異がみられることが確認できたことから、歴史的市街地内部においても類型毎に異なった空間変容を遂げているであろうという仮説を打ち立てることができた。次章以降では、この類型別歴史的市街地内部における空間変容の推移について分析、考察を行う。



注

- 1) 表1下欄文献3)による
- 2) ここでは、海港、川港等の港町も市場町として区分した。
- 3) 建物が密集しているため個々の建物を区別して表示することが困難な場合に、建物を総合して表示したもの(昭和61年度2万5千分の1地形図図式、建設省国土地理院)
- 4) 但し、成立基盤の区分については4-3-2の特性の把握の段階でその区分に有意でないという結果もでている。

文献

- (1) 藤本利治他、城と城下町、付録地図、1978
- (2) 藤岡健二郎、日本の都市その特質と問題点、第二章 明治・大正年代の日本の都市 p 138～193、大明堂、1968
- (3) 角川日本地名大事典、角川書店
- (4) 真嶋二郎、住宅市場圏分布序論・その構造と変遷、転換期の地方の住宅政策を問う、日本建築学会1997年度大会・建築経済部門研究協議会、p79-86,1997.9